



整備解説書



<目次>

第1章 総説

安全上の注意	1-1
--------	-----

第2章 サービスデータ

主要諸元	2-1
整備基準値一覧	2-2
配索図	2-3

第3章 点検・調整

点検・交換一覧表	3-1
走行前点検チェックシート	3-2
点検・調整	3-4
燃料・オイル	3-4
タイヤ・ホイール	3-5
シート	3-6
アクセルペダル	3-7
キャブレター	3-9
ブレーキ	3-10
ブレーキエア抜き	3-12
ステアリング	3-13
トー調整	3-14
駆動系	3-15
車体・外装	3-16

< 目次 >

第4章 パーツの脱着

タイヤ・ホイール	4-1
外装部品	4-5
シート・フロアパネル	4-8
ナックル周辺部品	4-11
ステアリング周辺部品	4-14
ペダル	4-17
燃料系	4-20
排気系	4-22
駆動系	4-24
ブレーキ	4-29

第5章 キャブレター

構成図	5-1
キャブレターの取り外し	5-2
キャブレターの分解	5-3
キャブレターの点検・清掃	5-4
キャブレターの組み立て	5-5
キャブレターの取り付け	5-6

第6章 エンジン

構成図	6-1
エンジンオイル交換	6-2
エンジンの脱着	6-3

安全上の注意

GR KARTを操作するにあたって、安全で正しい使用ができるように、このサービスマニュアルの記載事項をよくお読みいただき、適切に整備され、安全に使用してください。またお子様が使用する場合は、保護者の方が適切な指導をしてください。

安全のため次の事項を必ず守ってください。

- カートを操作する前に、必ずこのサービスマニュアルをよく読んでください。
- お子様がカートを操作する場合は、必ず大人の監督者が付き添ってください。
- 監督者はお子様が、お乗りになる前にカートの操作方法などをよく理解しているか確認してください。また、慣れるまでは混んでいないサーキットで練習してください。
- カートは一人乗り用なので他の人を乗せて走行するとトラブルを生じる恐れがあります。
- GR KARTは競技専用車両です。国土交通省の認定を受けておりませんので、一般道路では絶対に走行しないでください。必ずカート専用コースで走行してください。カートで道路を走行しますと、道路交通法および道路運送車両法の違反となります。また、私道、神社の境内、公園、海辺、林道、農道、堤防上など、いわゆる道路としての形態を整えていないところでも、人や車が自由に出入り出来るところは、一般の道路とみなされます。
- 高熱部分（エンジン、マフラ、ブレーキ）や回転部分（スプロケット、タイヤ）に触れないようにしてください。
- 排気ガスは有害ですので、密封された場所では、決してエンジンを始動させないでください。
- お子様が無断でカートに乗らないように、保管は十分注意してください。また、サビ等による不具合を防止するために屋内に保管してください。
- カート本体およびエンジンは、カート以外の用途に使用しないでください。
- カート本体にカートエンジン以外のエンジンは搭載しないでください。カートエンジン以外のエンジンを搭載するとフレームに不具合が生じます。
- 改造は競技団体および出場クラスで定められている競技規則の範囲でおこなってください。また、重要部品（ブレーキ、ステアリング、等）は極力改造しないでください。
- 本書の「走行前点検チェックシート」を参照して、走行前の点検を必ず実施してください。
- カートを運転するときは、事故防止のために競技規則に合った安全な服装を着装して乗車してください。
- GR KARTは、サーキットコースを走行するために製作されています。特に、サーキットコース以外やオフロードを走行するとフレーム、エンジンに不具合を生じますので、走行しないでください。
- 点検・整備を行う際は、必ずエンジンを停止してから作業してください。
- 点検・整備は、カート及び台車が動き出さないよう平坦な場所で行ってください。

第2章 サービスデータ

主要諸元

シャーシ

全長	1,820mm
全幅	1,160mm
全高	670mm
ホイールベース	1,045mm
リヤトレッド	1,150mm
タイヤサイズ	フロント : 4.5 × 10.0 - 5 リヤ : 6.0 × 11.0 - 5
車両重量	83kg (オイル込み、ガソリン抜き)
メインチューブ	Φ31.8 (汎用鋼管)
リヤシャフト	Φ40 (ステンレス鋼管)
ブレーキ	油圧対向2ポッド
ドライビングポジション 調整機構	①ペダルスライド (前後8段階) ②ステアリングチルト (上下4段階) ③ステアリングテレスコピック (前後3段階) ④シート位置 (前後2段階)
乗車可能身長	135cm～185cm

エンジン駆動系

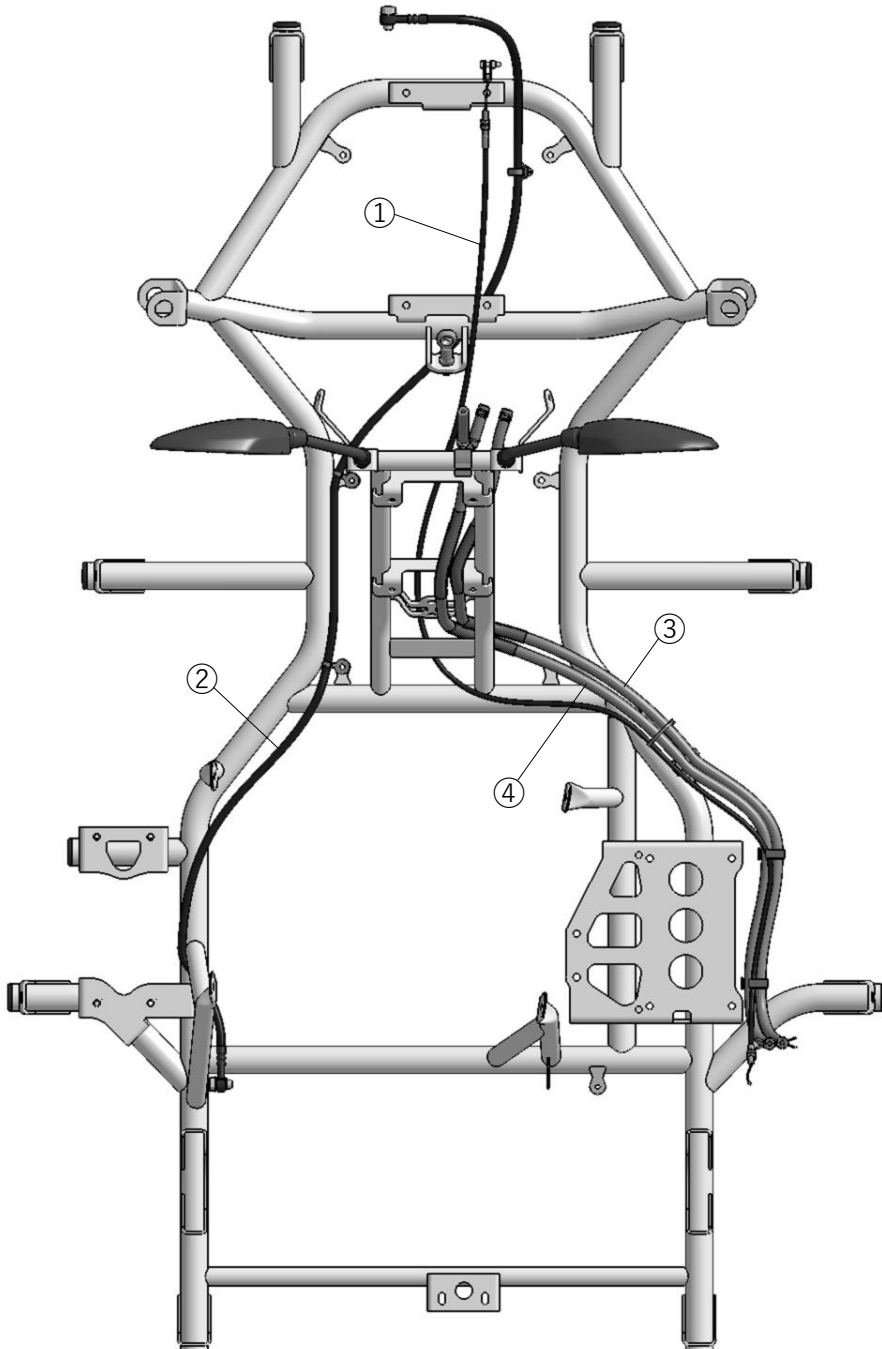
使用燃料	無鉛ガソリン (ハイオク、レギュラーともに使用可)
エンジン型式	GR200S
排気量	215cc
最大出力	5.1kW (7.0PS)
始動方式	セル／リコイル併用 (自己充電式リチウムバッテリー内蔵)
キャブレター	ダイヤフラム式 (燃料引き込みポンプ付き)
駆動方式	ベルトドライブ (張りはオートテンショナーで自動調整)

整備基準値一覧

項目	基準値
タイヤ空気圧	100 KPa
ブレーキパッド摩材厚さ	1.5 mm 以上（バックプレート含厚さ4.5mm以上）
ブレーキディスク厚さ	4.5 mm 以上
ブレーキフルード	DOT 4
トーイン	0 mm
ロースピードスクリュース返し開度	$2 \pm 1/4$ 回転戻し
ハイスピードスクリュース返し開度	$3 \pm 1/4$ 回転戻し
エンジンオイル量	0.55 L
エンジンオイル粘度	5W - 30

配索図

- ① アクセルワイヤー（※フロアパネル上レイアウト4-21参照）
- ② ブレーキホース
- ③ 燃料ホース（メイン）
- ④ 燃料ホース（リターン）



第3章 点検・調整

点検・交換一覧表

項目	点検内容	1走 行毎	10時 間毎	50時 間毎	異常 発見時
ドライブベルト	ベルトラインのずれ 亀裂・ほつれ	○	○		
エンジン	交換（オイル）初回のみ10時間毎 エンジン締結		○	○	
キャブレター	フィルターの詰まり 清掃（本体） ガスケット・Oリング	○			○ ○
ステアリング系	各部作動 ゆるみ、傷 締付トルク		○ ○ ○		
フュエルシステム	漏れ、損傷、劣化		○		
タイヤ・ホイール	空気圧調整 ホイール増締め ホイール（エア漏れ・曲がり） フロントハブ（ゆるみ・ガタ） タイヤ（扁平・損傷）	○ ○	○ ○		○
ブレーキ	ブレーキパッド残量 ブレーキディスク（残量、クラック、引きずり） ブレーキフルード（漏れ、汚れ、異物） ブレーキ増締め	○	○ ○ ○		
ペダル・ワイヤー	スロットル全開/全閉の確認 ワイヤーの切れ・ほつれ ペダルスライド時のワイヤーの動き	○ ○	○		
リヤアクスル	リヤアクスルの振れ イモネジの締結	○	○		

※接触、衝突、コースアウト等が発生した場合は、点検周期にかかわらず各部の点検を実施すること

走行前点検チェックシート

燃料	走行に十分な量が入っている	☐
給油キャップ	確実にしまっている	☐
オイル漏れ	漏れ・にじみがない	☐
オイル量	規定量が入っている	☐

タイヤ・ホイール

タイヤ空気圧	規定値内である	☐
タイヤ摩耗・損傷	異常摩耗・損傷がない	☐
ホイールナット	緩みがない	☐
ホイールの振れ	回転させたとき振れがない	☐

アクセル

ペダル動作	スムーズに動く	☐
全開の点検	スロットルが全開であること	☐
全閉の点検	スロットルが全閉で多少の遊びがあること	☐

ブレーキ

ペダル動作	スムーズに動く	☐
遊び量	適度である	☐
制動力	しっかり効く	☐
ブレーキフルード	漏れがない	☐
ブレーキパッド	パッド残量が十分にある	☐

走行前点検チェックシート

ステアリング

ハンドル操作	左右スムーズに動く	☐
タイロッド	曲がり・損傷がない	☐
ナックル	曲がり・損傷がない	☐
トー	標準値内である	☐

駆動系

ドライブベルト	亀裂・ほつれがない	☐
ベルトカバー	確実に固定されている	☐
プーリー	バリ・損傷がない	☐
ベルトライン	ベルトがセンターに掛かっている	☐

車体・外装

外装	しっかり固定されている	☐
各ボルト・ナット	緩みがない	☐
フレーム	亀裂・曲がりがない	☐

燃料・オイル（点検）



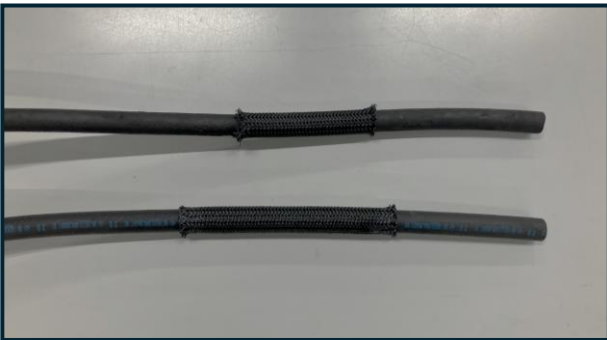
燃料漏れ

・キャブレター、燃料ホース、燃料タンクから燃料の漏れ、にじみがないか確認する



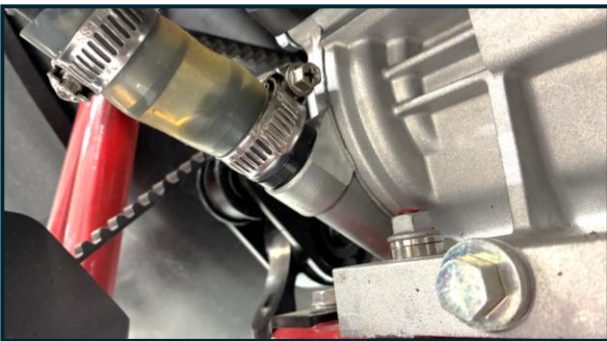
給油キャップ

・走行時に緩んでしまわないようしっかり締める



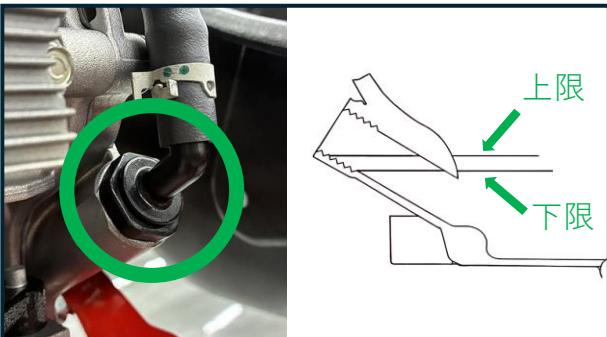
燃料ホース

・漏れ、損傷、劣化がないか確認する
損傷、劣化→交換



オイル漏れ

・エンジンドレンボルト・オイルキャッチタンク等からオイルの漏れ、にじみがないか確認する



オイル量確認

・フロントオイルキャッチタンクアダプターを取り外す
オイルの油面がネジ部に触れる高さまでであることを確認する
※エンジンが水平な状態で確認する

タイヤ・ホイール（点検）



タイヤ空気圧

・タイヤ空気圧をエアゲージで測定し
エア漏れの有無、規定量入っているか
確認する



標準空気圧：100kPa
(1.00 kgf/cm²)



タイヤ摩耗・損傷

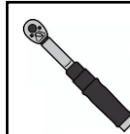
・異常摩耗や損傷がないか確認する

異常摩耗・損傷 → 交換



ホイールナット

・ホイールナットの緩みがないか確認
する



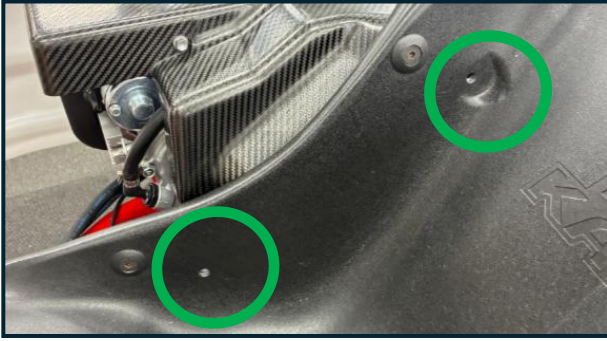
締付トルク(M8)：21.0 N・m



ホイール

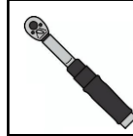
・エア漏れ、曲がりの有無を確認する
エア漏れ・曲がり → 交換

シート（調整）



シートの調整

- ・シート位置を使用する穴を変えることで調整する

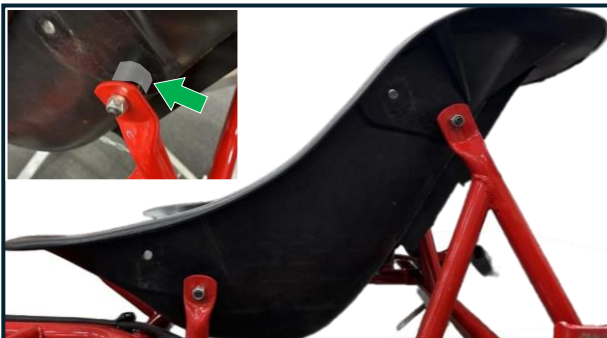


締付トルク(M8)： 6.0 N・m



シート位置【リヤ寄り固定】

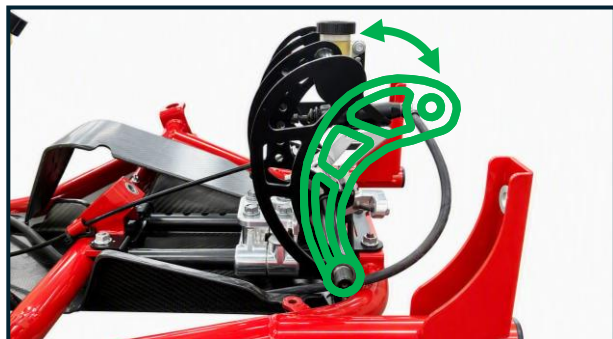
- ・車両左に設定されているスペーサーを前後ともシートステーの外側に装着



シート位置【フロント寄り固定】

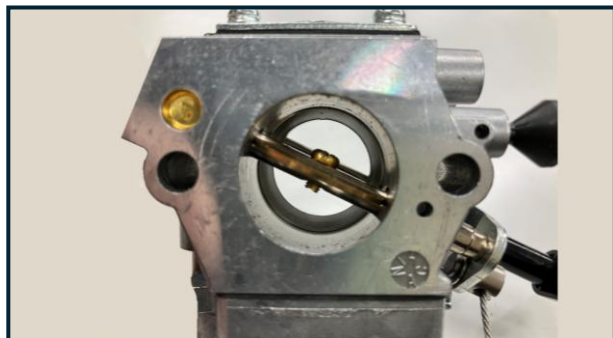
- ・車両左に設定されているスペーサーを前後ともシートステーの内側に装着

アクセルペダル（点検）



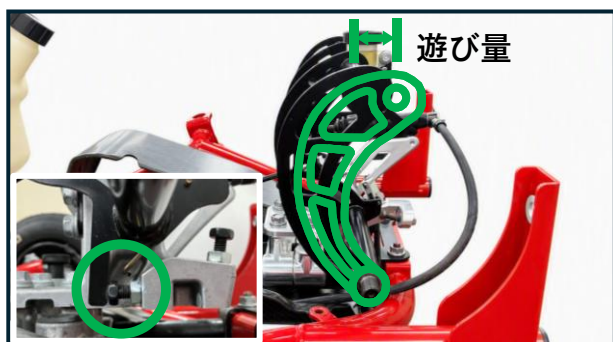
ペダル動作

- ・ペダルがスムーズに動くか確認する



全開の点検

- ・ペダルを踏み込んだ際スロットルバルブが全開になっているか確認する
全開になっていない、もしくはストッパーボルトで止まる前に全開になる場合はアクセルワイヤー、全開側のストッパーボルトを調整する

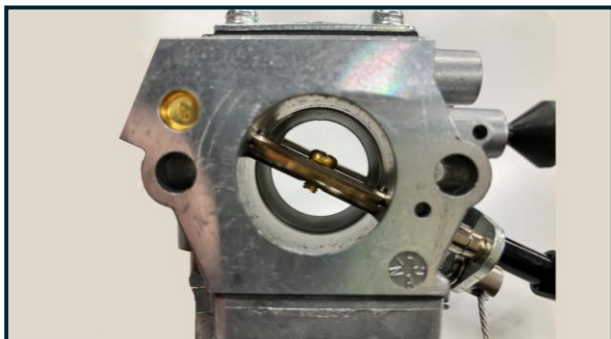


全閉の点検

- ・ペダルを踏んでいない時、アクセルワイヤーに少したるみがある状態であるか確認する
たるみが無く張っている、もしくはたるみが大きい場合はアクセルワイヤー、全閉側のストッパーボルトで調整する

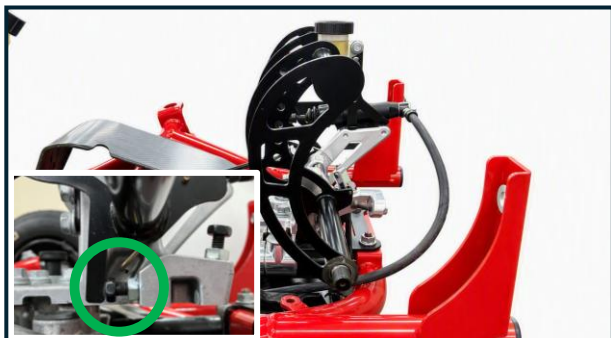
※詳細な調整手順は3-8参照

アクセルペダル（調整）

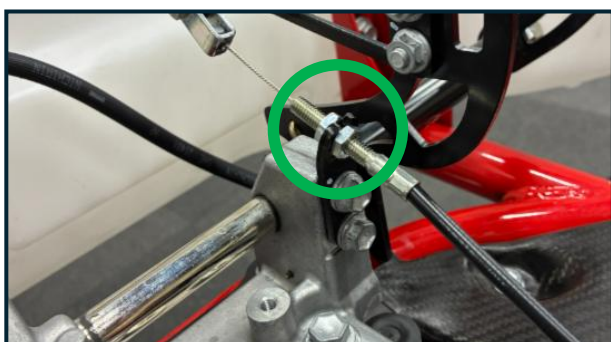


アクセルペダルの調整

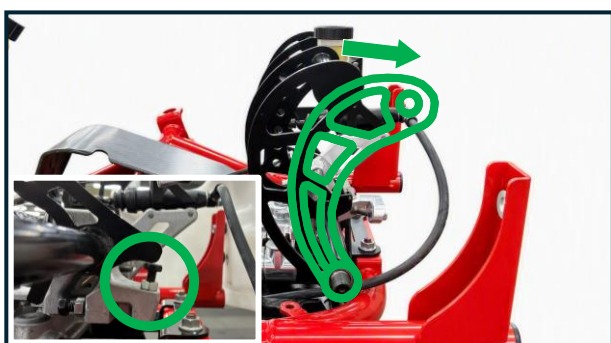
・エアクリーナーを取り外しスロットルバルブが見えるようにする



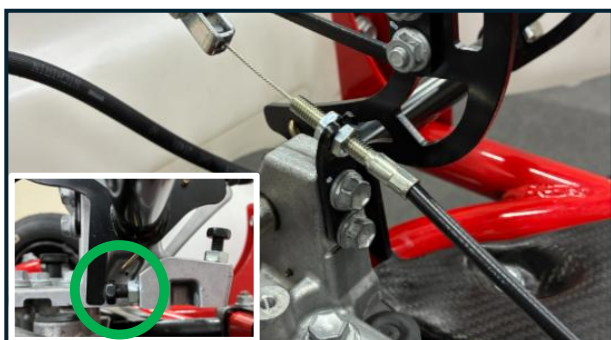
・踏んでいない状態でブレーキペダルと同じ位置になるよう全閉側のストッパーボルトを調整する



・ワイヤーが軽く張る程度に外策位置を調整して固定する



・アクセルペダル全開側のストッパーボルトをアクセル全開時に当たらない位置まで締め込む
・スロットルが全開になるまでアクセルペダルを踏み込む
・その位置でペダルが止められるよう、ストッパーボルトを戻してロックナットで固定する



・全閉側のストッパーボルトを調整し、アクセルワイヤーに少したるみを持たせる

キャブレター（調整）



ロースピードスクリューの調整

・ロースピードスクリューを調整し、アイドル時および低回転時の混合気の濃さを調整する



ロースピードスクリュー
戻し開度： $2 \pm 1/4$



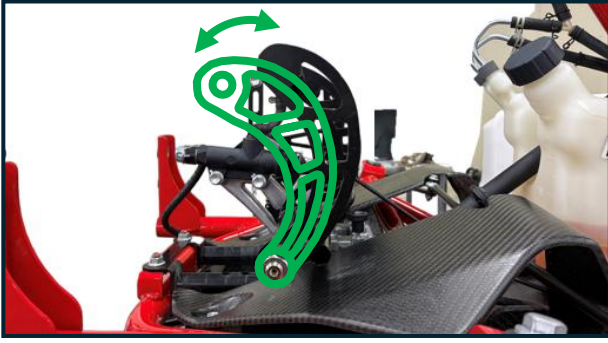
ハイスピードスクリューの調整

・ハイスピードスクリューを調整し高速、高開度時の混合気の濃さを調整する



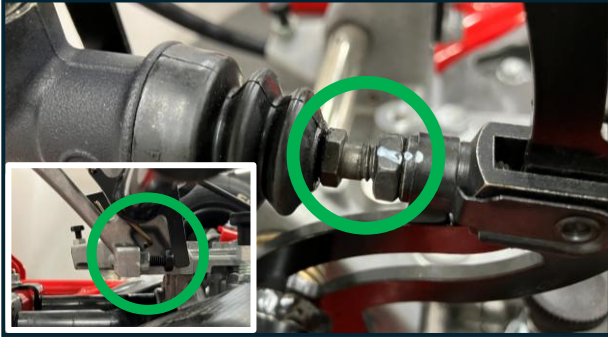
ハイスピードスクリュー
戻し開度： $3 \pm 1/4$

ブレーキ（点検）



ペダル動作

- ・ペダルがスムーズに動くか確認する



ペダル位置の点検

- ・ブレーキが踏まれていないときにマスターシリンダーが押されていないことを確認する

※押されている場合はストッパーボルト、プッシュロッドアジャスターを調整する

制動力

- ・ブレーキペダルを踏んだ時に制動力がしっかり立ち上がっているか確認する

※制動力が立ち上がらない際はブレーキパッドの残量、ブレーキフルードにエアが噛んでいないかを確認する

※ブレーキエア抜き手順は3-12参照



ブレーキフルード

- ・ブレーキマスターシリンダー、ブレーキキャリパー、ブレーキホースからブレーキフルードが漏れていないか確認する

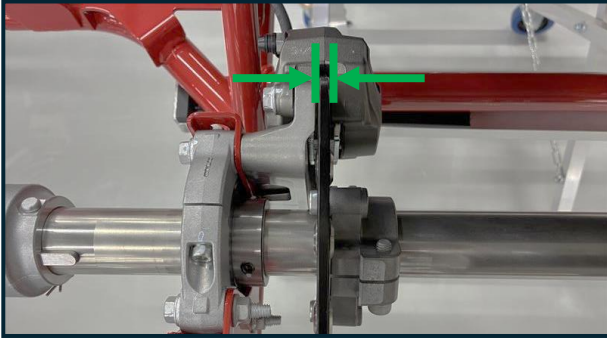
ブレーキパッド残量

- ・摩材の厚さが十分にあるか確認する



摩材厚さ：1.5 mm以上
バックプレート含厚さ
：4.5 mm以上

ブレーキ（点検・調整）



ブレーキディスク残量

・ブレーキディスクの厚さが十分にあるか確認する

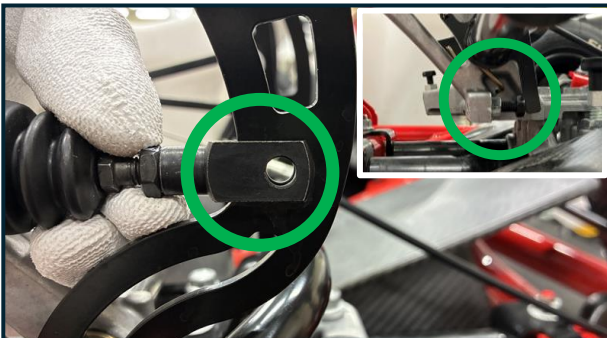


厚さ：4.5 mm以上



ブレーキペダルの調整

・ピンを引きぬきマスターシリンダーとブレーキペダルを分離する



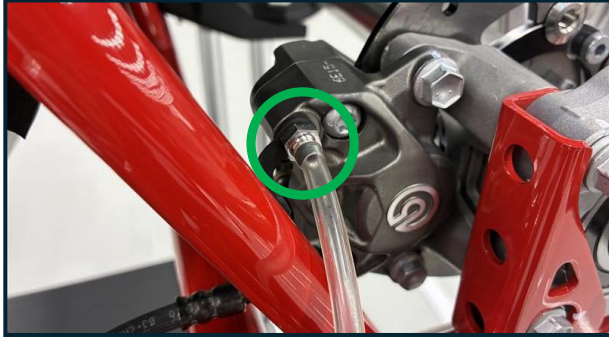
・マスターシリンダーがフリーな状態で、マスターシリンダー先端の穴とブレーキペダルの穴が合うようにストッパーボルトを調整する

ブレーキ（調整）

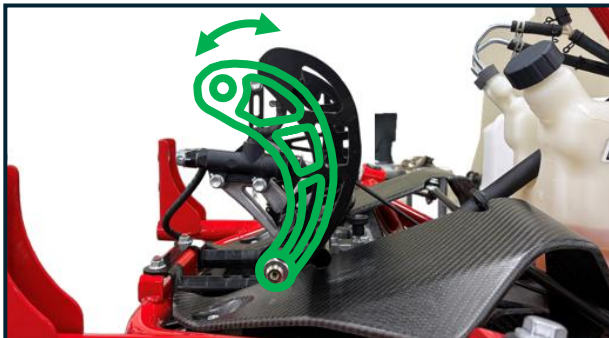


ブレーキフルードのエア抜き

- ・リザーバキャップ、リザーバダイヤフラムを取り外す



- ・ブリーダキャップを取り外し、ブリーダバルブにホースを取り付け反対のホース先端に受け皿を用意する



- ・ブレーキペダルを数回作動させた後、ブレーキペダルを一杯に踏んだ状態でブリーダプラグを1/2回転緩め再び締め付ける

※ブリーダプラグを締め付けるまで、ブレーキペダルを放さない



- ・ブレーキペダルを放し、数秒後にブレーキペダルを作動させ、ブリーダプラグからエアが出なくなるまで繰り返す

- ・リザーバダイヤフラム、リザーバキャップを取り付ける

※要点

- ・リザーバタンクにブレーキフルードを補充しながら行う
- ・ブレーキペダルを踏んでブレーキフルードの漏れがないか確認する
- ・作業時付着したブレーキフルードは水で洗い流す

ステアリング（点検）



ハンドル操作

- ・ハンドルを左右に切りスムーズに動くか確認する



タイロッド

- ・曲がり、損傷がないか、ピロがスムーズに動くか確認する
- 曲がり、損傷→交換

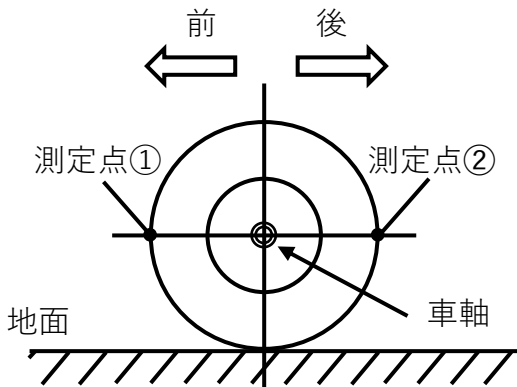
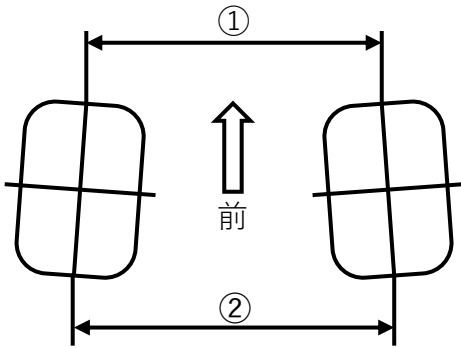


ナックル

- ・曲がり、損傷がないか確認する
- 曲がり、損傷→交換

トー（点検・調整）

（前輪を上からみた図）



トーの点検、調整

- ・アリングチルトを上から3番目の位置に合わせる
 - ・左右タイヤの中央にマーカ等でしるしをつける
 - ・車軸と同じ高さで車軸前側の距離①（印と印の間）を計測する
 - ・左右のタイヤを 180° 回転させ、後側の距離②を測定する
 - ・車軸前側の距離と後側の距離の差（①－②）を計算する
- ※ハンドルをまっすぐにした状態で測定する



標準トーイン：0 mm

- ・ロックナットを緩め、タイロッドを回し調整します。

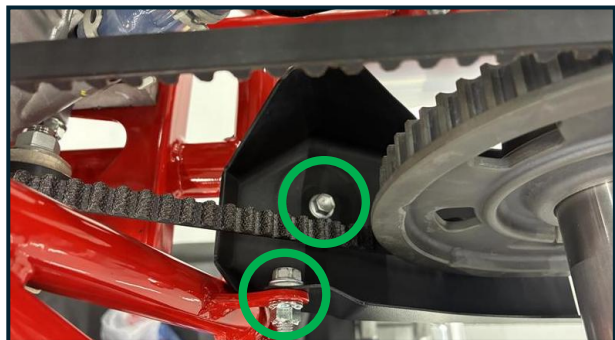


駆動系（点検）



ドライブベルト

・亀裂、ほつれがないか確認する
損傷・摩耗→交換



ベルトカバー

・しっかり固定されているか確認する

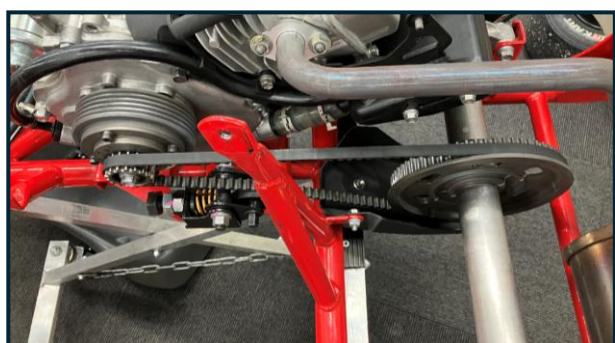


締付トルク(M6)：14.0 N・m



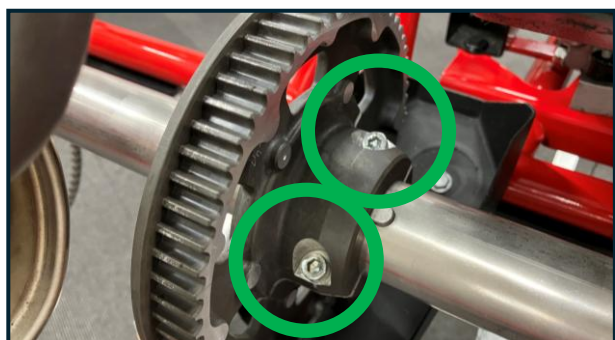
プーリー

・バリ、損傷がないか確認する
損傷・摩耗→交換



ベルトライン

・シャフトを回転させてドライブプーリー、ドリブンプーリー、テンショナーのセンターにベルトが正しく乗っていることを確認する

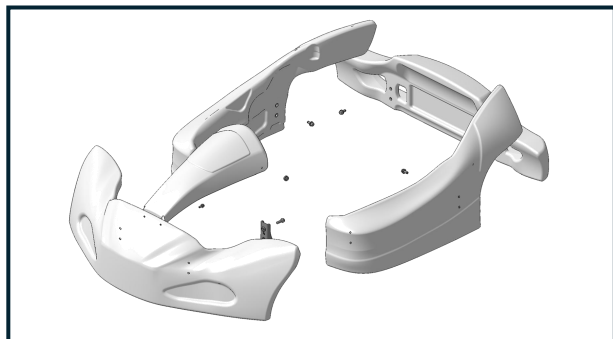


※センターがズレている場合はドリブンプーリーの位置を左右に調整しボルト(M6)×2を締め固定する



締付トルク(M6)：14.0 N・m

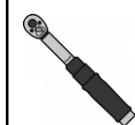
車体・外装（点検）



外装

・各外装パーツがしっかり固定されているかどうか確認する

※フロントバンパーのみ締付トルクが違うため注意する



締付トルク(M6) : 6.0 N・m
締付トルク(M8) : 14.0 N・m ※
締付トルク(M8) : 21.0 N・m

ボルト・ナット

・各ボルト、ナットがしっかり固定されているか確認する

※各締付トルクはGRアプリ「締付トルク一覧」参照

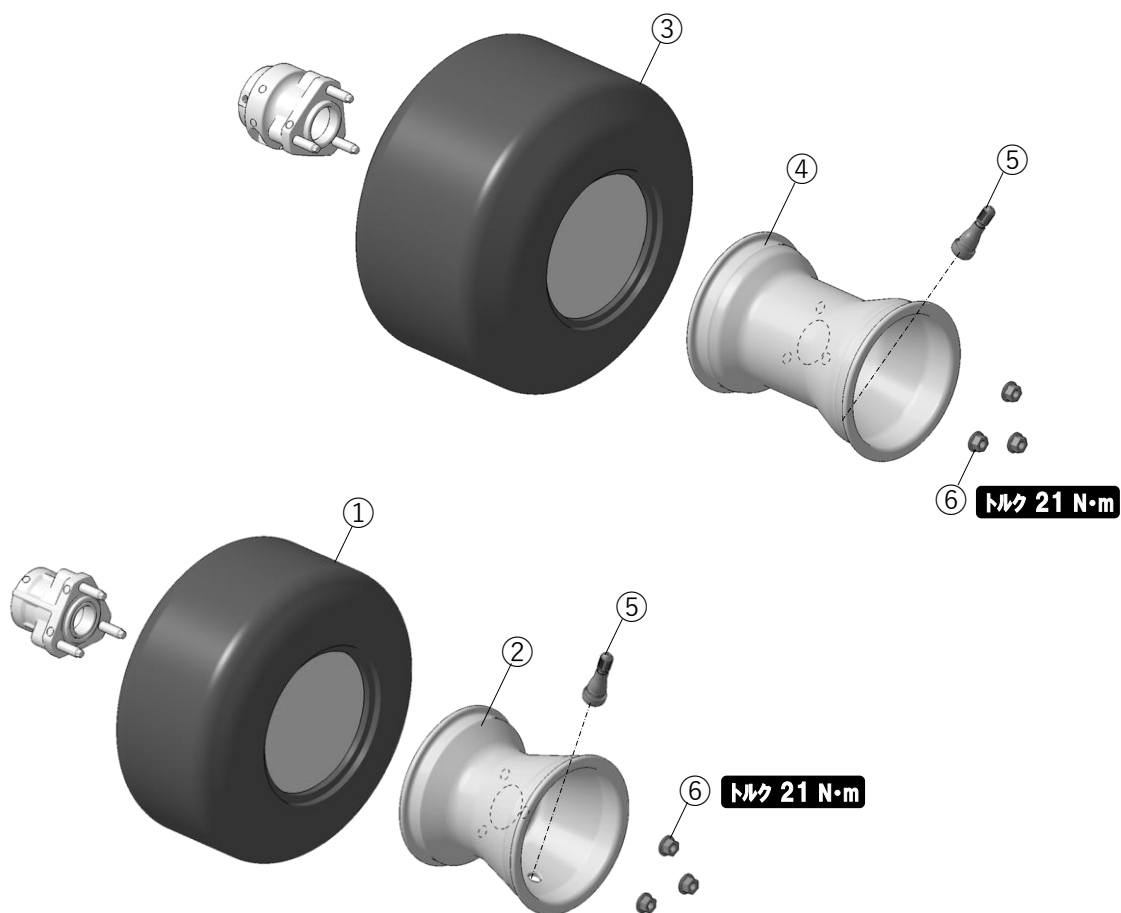
フレーム

・曲がり、損傷がないか確認する

第4章 パーツの脱着

タイヤ・ホイール

- ① フロントタイヤ
- ② フロントホイール
- ③ リヤタイヤ
- ④ リヤホイール
- ⑤ エアバルブ
- ⑥ ナットM8

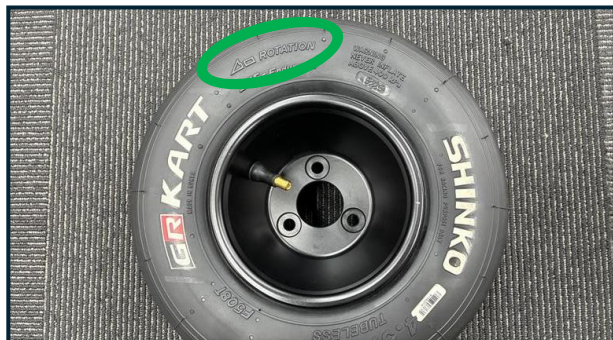


タイヤ・ホイール



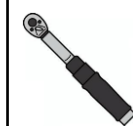
フロントタイヤ・ホイールアッシーの 取り外し

- ・ナット(M8)×3を取り外す

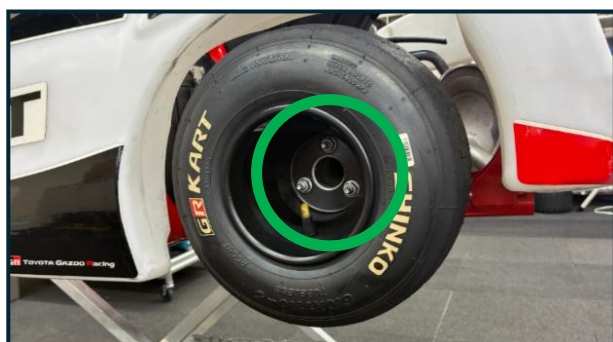


フロントタイヤ・ホイールアッシーの 取り付け

- ・取り外しの逆の手順で取り付ける
- ※回転方向指示の矢印を確認して取り付ける

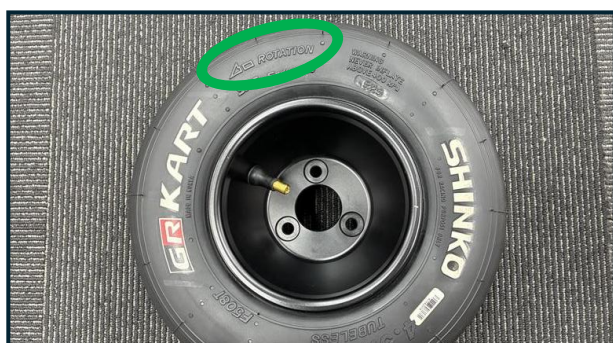


締付トルク(M8)：21.0 N・m



リヤタイヤ・ホイールアッシーの取り 外し

- ・ナット(M8)×3を取り外す



リヤタイヤ・ホイールアッシーの取り 付け

- ・取り外しの逆の手順で取り付ける
- ※回転方向指示の矢印を確認して取り付ける



締付トルク(M8)：21.0 N・m

タイヤ・ホイール

タイヤの組み外し

・バルブキャップ、バルブコアを取り外し空気を抜く



・ビードブレイカーを用いてタイヤ両面のビードを落とす



・ホイール内側を上面にする
・タイヤを押し込み、ビードをホイール内側へ落とし込む
※ビードを十分に落とし込むことで取り外しが容易になる



・ビードを落とし込んだ状態のまま、片足をホイール内側の上面に置きホイールを押さえ、ビード片側をホイール外側へ持ち上げる
※ビードが元の位置に戻ると取り外しが困難になるため注意する



・ホイールを裏返しタイヤを膝で軽く押さえ、両手で押し倒すようにしながらホイールを引き抜く
※タイヤが変形するまで押さえると、取り外しが困難になるため注意する



タイヤ・ホイール

タイヤの取り付け

・タイヤの回転方向指示の矢印を確認してホイールの内側をタイヤに押し込む

※タイヤに回転方向があるので注意する

・ホイールの内側を上面にする

・タイヤを押し込み、ビードの片側をホイール内側に落とし込む

※ビードを十分に落とし込むことで取り付けが容易になる

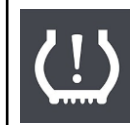
・ホイールが動かない様に片手で固定し、もう一方の手でタイヤを押し込みホイールに入れる

※ビードが戻ると取り付けが困難になるため、落とし込んでいる状態を維持する

・バルブコアをつけ空気を充填しビードを上げ、エアゲージで空気圧を調整する

※ビードを上げる際は400kPa以上入れないこと、またタイヤを寝かせず、ホイールが横向きの状態で支えること

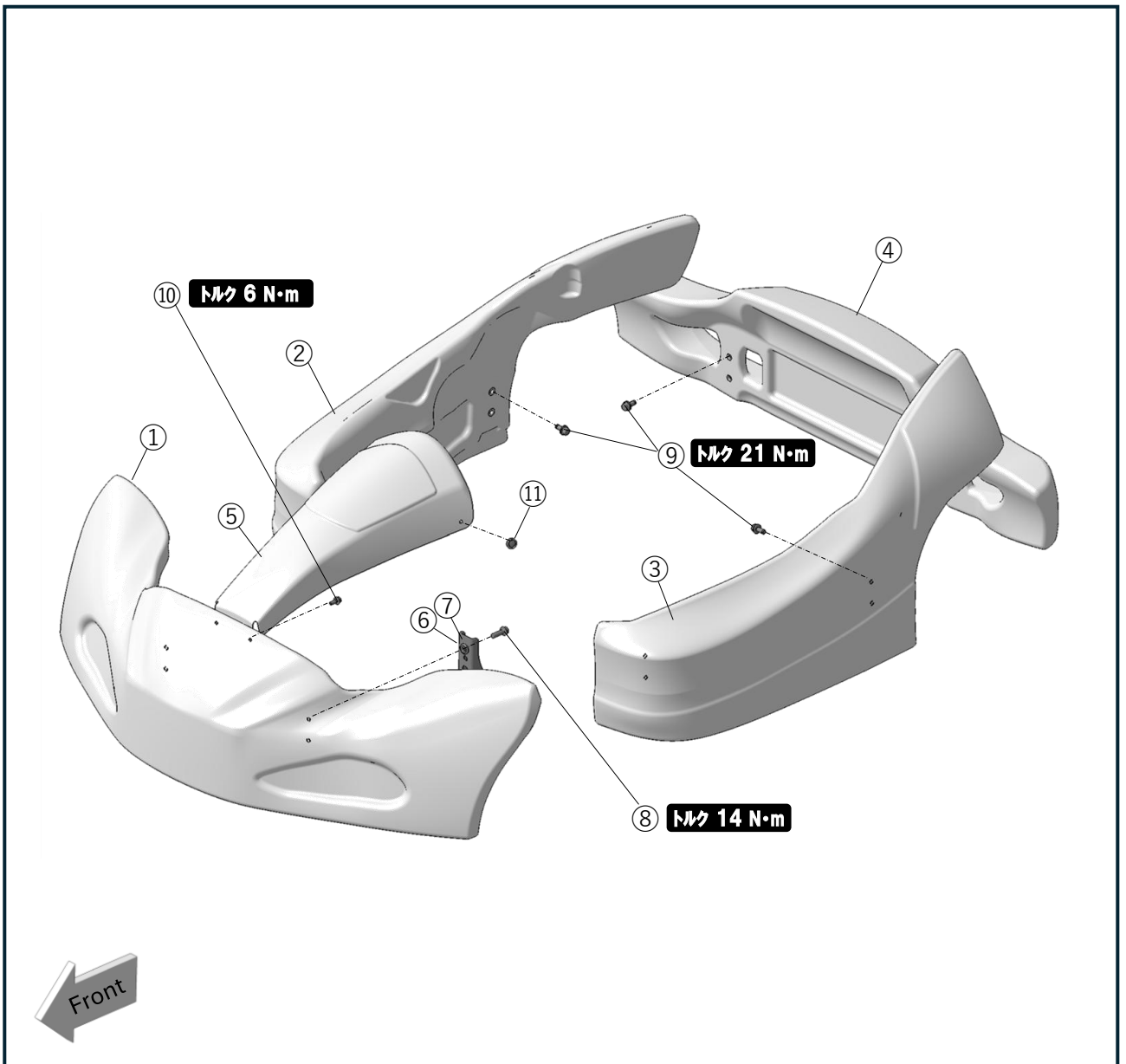
※タイヤとホイールの間に指を挟まれないよう注意する



標準空気圧：100kPa
(1.00 kgf/cm²)

外装部品

- ① フロントバンパー
- ② 右サイドバンパー
- ③ 左サイドバンパー
- ④ リヤバンパー
- ⑤ フロントパネル
- ⑥ グロメット
- ⑦ カラー
- ⑧ ボルトM8 (4個)
- ⑨ ボルトM8 (12個)
- ⑩ ボルトM6 (2個)
- ⑪ クリップ



外装部品

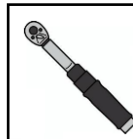


フロントパネルの取り外し

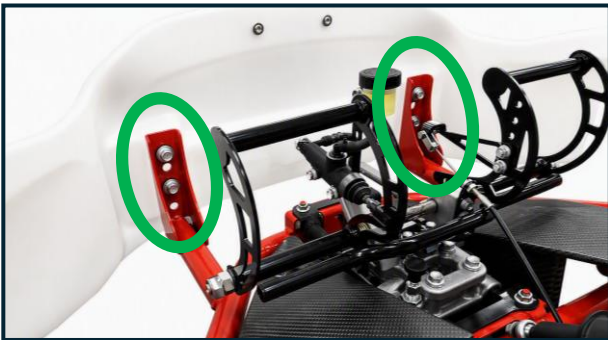
- ・ ボルト(M6)×2を取り外す
- ・ 樹脂クリップ×2を取り外す

フロントパネルの取り付け

- ・ 取り外しの逆の手順で取り付ける



締付トルク(M6)：6.0 N・m

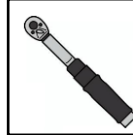


フロントバンパーの取り外し

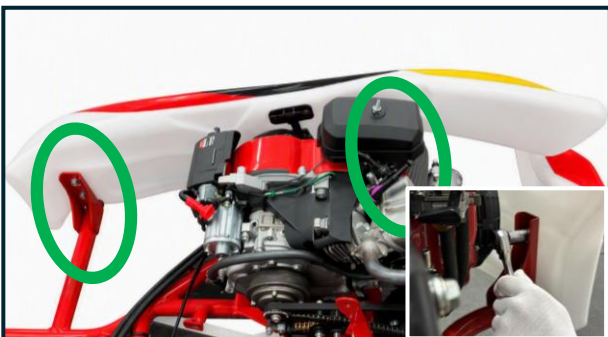
- ・ ボルト(M8)×4を取り外す

フロントバンパーの取り付け

- ・ 取り外しの逆の手順で取り付ける



締付トルク(M8)：14.0 N・m

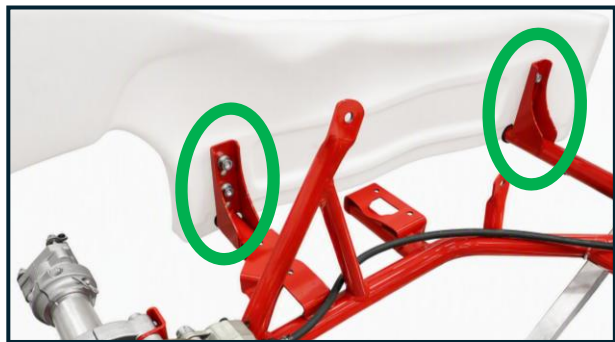


サイドバンパーの取り外し

- ・ ボルト(M8)×4を取り外す

※右サイドバンパーはエンジンとの隙間が狭いため、右リヤタイヤを外して作業することを推奨する。

外装部品



サイドバンパーの取り付け

- ・取り外しの逆の手順で取り付ける



締付トルク(M8)：21.0 N・m

※右サイドバンパー脱着の際、エンジン、マフラーが近く走行後には熱くなっているため気を付けて作業する



リヤバンパーの取り外し

- ・ボルト(M8)×4を取り外す

リヤバンパーの取り付け

- ・取り外しの逆の手順で取り付ける

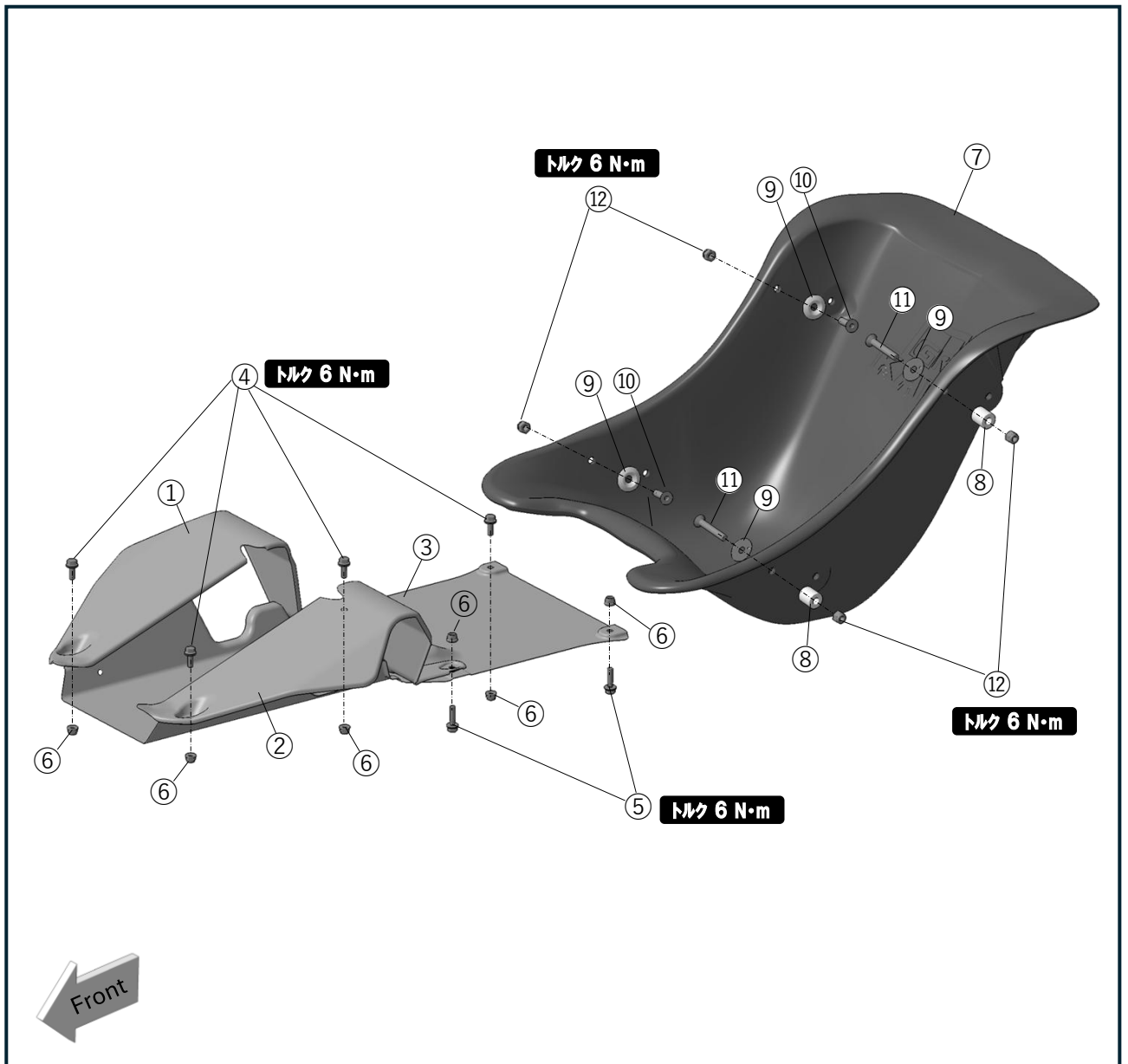


締付トルク(M8)：21.0 N・m

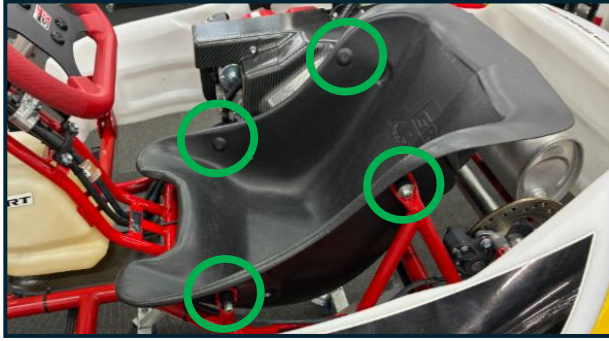
※リヤバンパー脱着の際、エンジン、マフラーが近く走行後には熱くなっているため気を付けて作業する

シート・フロアパネル

- ① フロアパネル上側・右
- ② フロアパネル上側・左
- ③ フロントパネル下側
- ④ ボルトM6 (4個)
- ⑤ ボルトM6 (2個)
- ⑥ ナイロンロックナットM6 (6個)
- ⑦ シート
- ⑧ シート左側用スペーサー
- ⑨ 皿ボルト用ワッシャー
- ⑩ 皿ボルトM8×30mm (シート右側・2個)
- ⑪ 皿ボルトM8×50mm (シート左側・2個)
- ⑫ ナイロンロックナットM8 (4個)



シート・フロアパネル

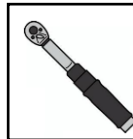


シートの取り外し

- ・ ボルト、ナイロンロックナット (M8)×4を取り外す

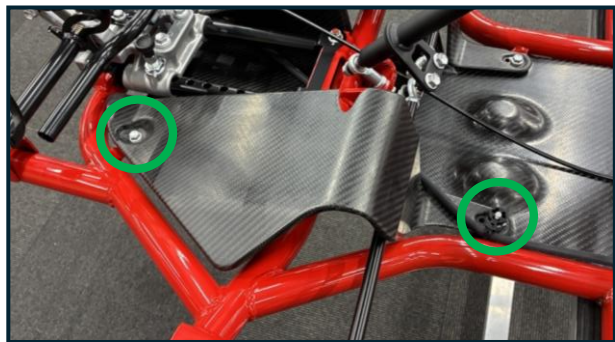
シートの取り付け

- ・ 取り外しの逆の手順で取り付ける
- ※シート取付位置に応じてスペーサーの位置を変更して取り付ける



締付トルク(M8)： 6.0 N・m

シート・フロアパネル



フロアパネル上側の取り外し

- ・ボルト、ナイロンロックナット (M6)×2を取り外す

フロアパネル上側の取り付け

- ・取り外しの逆の手順で取り付ける
- ※左フロアパネル上側の車両後方のボルトは取付向きが異なるので注意する

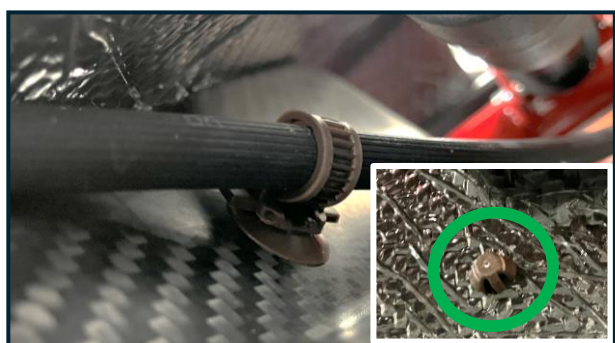


締付トルク(M6)： 6.0 N・m



フロアパネル下側の取り外し

- ・フロアパネル上側を取り外す
- ・ボルト、ナイロンロックナット (M6)×2を外す



- ・ブレーキホースの樹脂クランプを取り外す

フロアパネル下側の取り付け

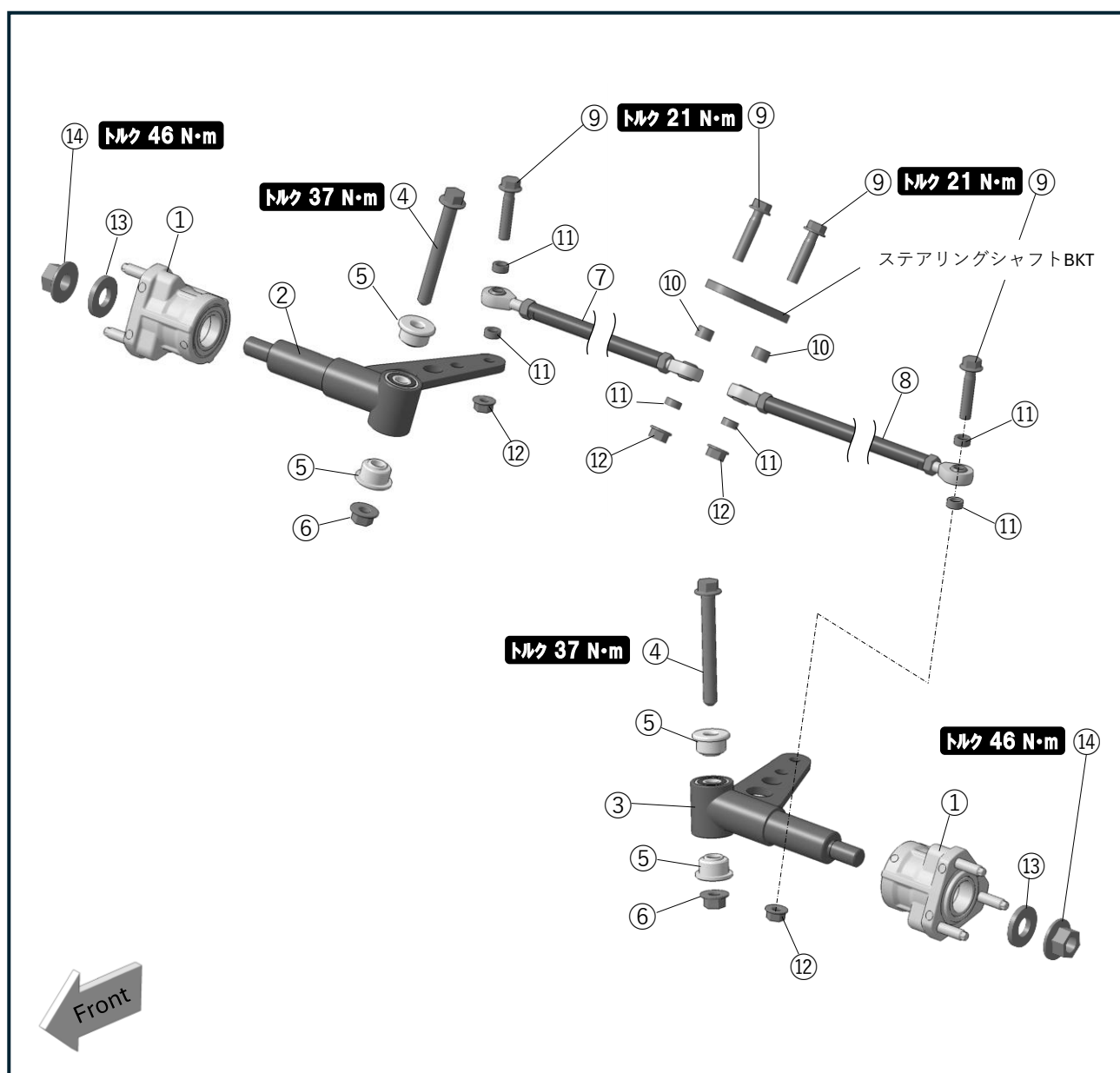
- ・取り外しの逆の手順で取り付ける



締付トルク(M6)： 6.0 N・m

ナックル周辺部品

- | | |
|--------------------|---------------|
| ① フロントホイールハブ | ⑪ カラー5mm |
| ② ナックル右側 | ⑫ ナットM8 (4個) |
| ③ ナックル左側 | ⑬ ワッシャー |
| ④ キングピンボルトM10 (2個) | ⑭ ナットM12 (2個) |
| ⑤ キングピンカラー | |
| ⑥ ナットM10 (2個) | |
| ⑦ タイロッドアッシー右側 | |
| ⑧ タイロッドアッシー左側 | |
| ⑨ ボルトM8 (4個) | |
| ⑩ カラー8mm | |



ナックル周辺部品



ナックルの取り外し

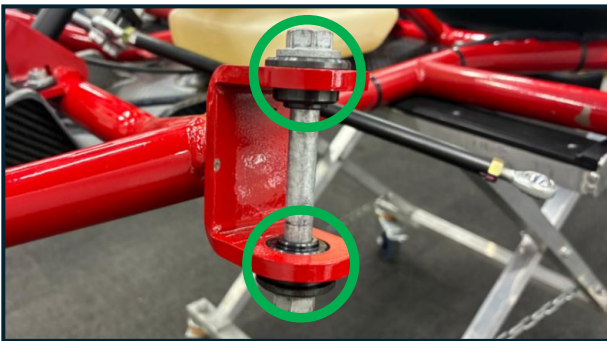
- ・フロントホイールを取り外す（4-2参照）
- ・ナット(M12)を外しフロントホイールハブを取り外す



- ・ボルト、ナット(M8)を取り外しナックルとタイロッドを分離する



- ・ボルト、ナット(M10)を取り外し、ナックルを取り外す



ナックルの取り付け

- ・取り外しの逆の手順で取り付ける
- ※ナックル上下のカラーを忘れず取り付け

	締付トルク(M8) : 21.0 N・m
	締付トルク(M10) : 37.0 N・m
	締付トルク(M12) : 46.0 N・m



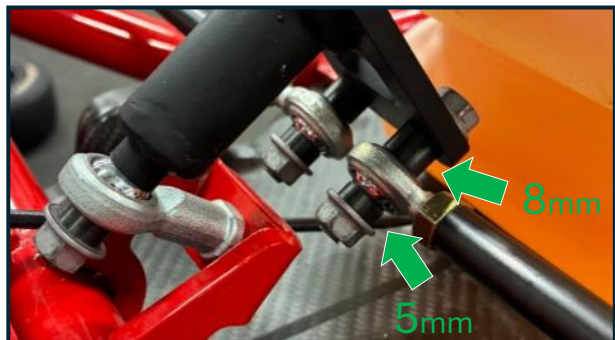
- ※タイロッドカラーの位置を間違えないよう注意する

ナックル周辺部品



タイロッドの取り外し

・ボルト、ナット(M8)×2を取り外しステアリングシャフト、ナックルと分離する



タイロッドの取り付け

・取り外しの逆の手順で取り付ける
 ※タイロッドカラーの厚みと取り付け位置を間違えないよう注意する
 ※ステアリングシャフト側は上側カラーが8mm、下側カラーが5mm、厚みが違うので注意して取り付ける



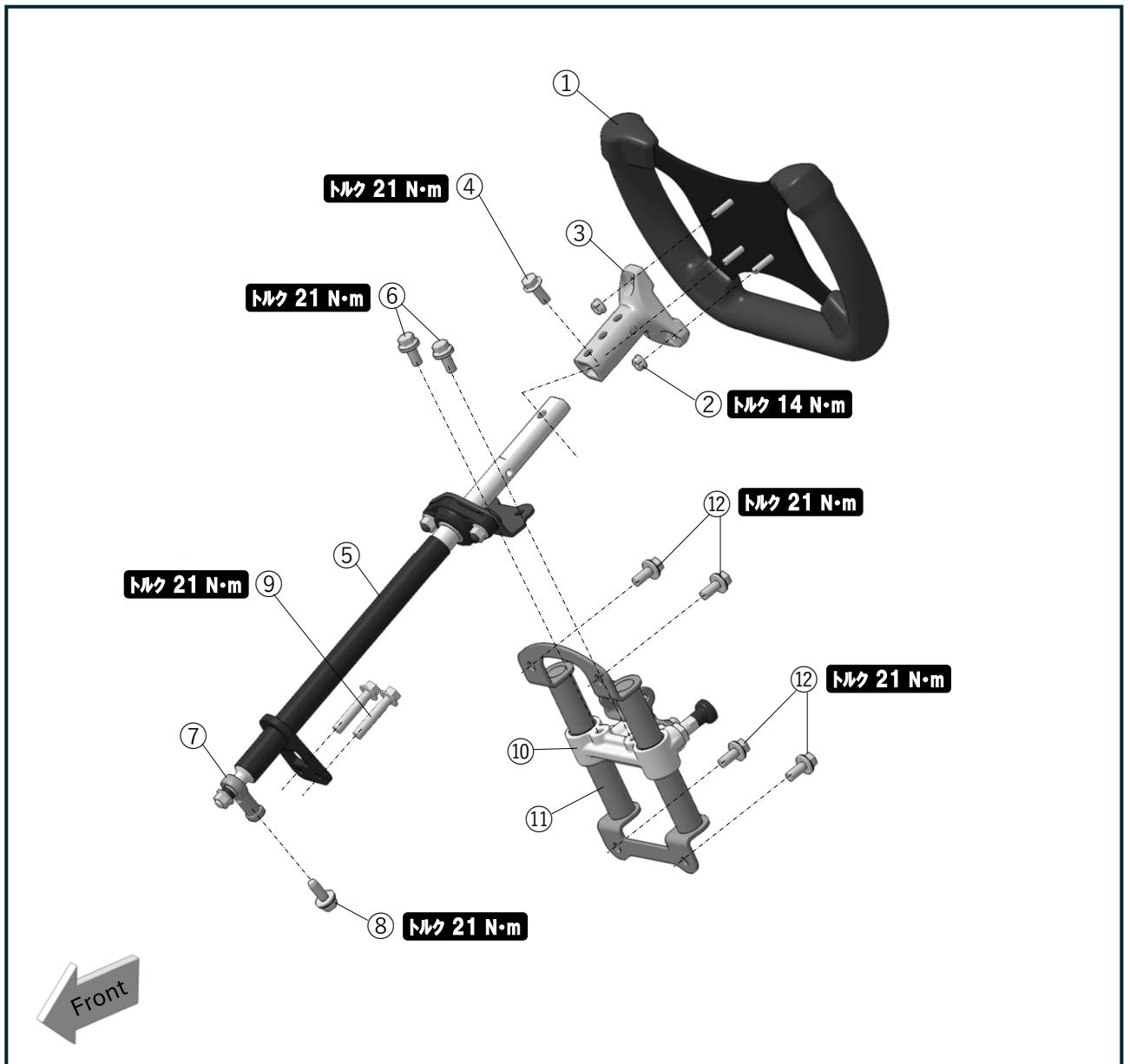
※ピロの角度に注意して取り付ける
 ボルトに対してピロが水平になるように取り付ける



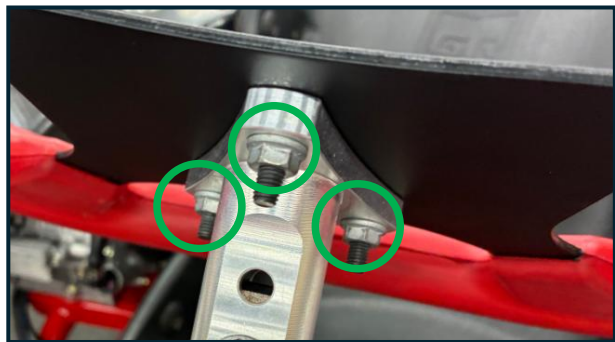
締付トルク(M8) : 21.0 N・m

ステアリング周辺部品

- ① ステアリング
- ② ナットM6 (3個)
- ③ ステアリングボス
- ④ ボルトM8 (1個)
- ⑤ ステアリングシャフト
- ⑥ ボルトM8 (2個)
- ⑦ ピロ
- ⑧ ボルトM8 (1個)
- ⑨ ボルトM8 (2個)
- ⑩ ステアリングチルトスライダー
- ⑪ ステアリングチルトパイプ
- ⑫ ジボルトM8 (4個)

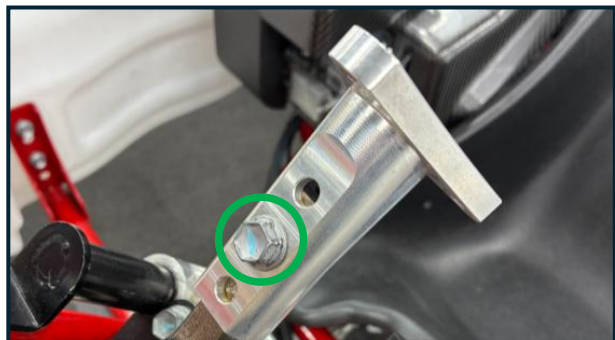


ステアリング周辺部品

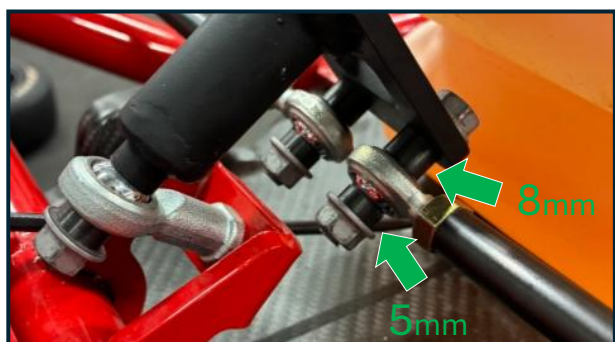


ステアリングの取り外し

- ・ナット(M6)×3を取り外しステアリングを取り外す



- ・ボルト(M8)を取り外しステアリングボスを取り外す

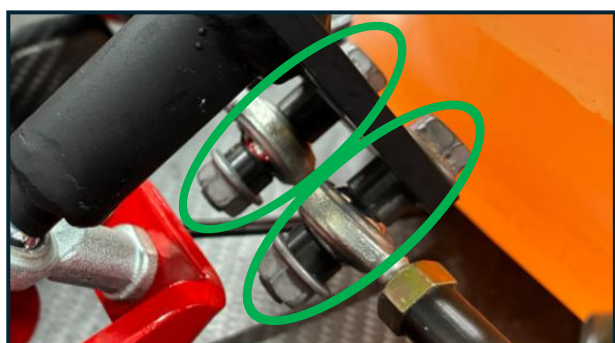


ステアリングの取り付け

- ・取り外しの逆の手順で取り付ける
- ※タイロッドカラーの厚みと取り付け位置を間違えないよう注意する

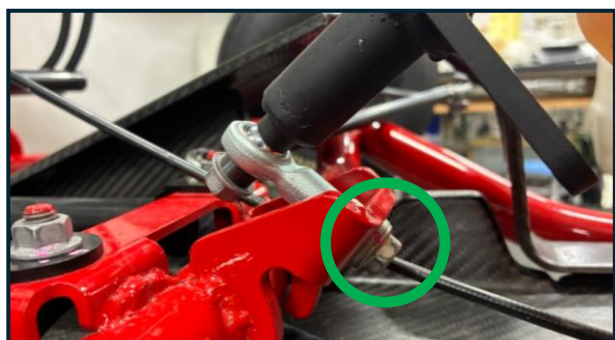


締付トルク(M6) : 14.0 N・m
締付トルク(M8) : 21.0 N・m



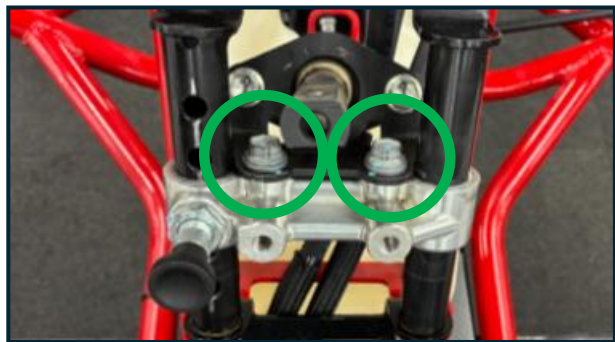
ステアリングシャフトの取り外し

- ステアリングを取り外す
- ・ボルト、ナット(M8)×2を取り外しタイロッドと分離する



- ・ボルト(M8)を取り外しステアリングシャフト先端のピロをフレームから分離する

ステアリング周辺部品



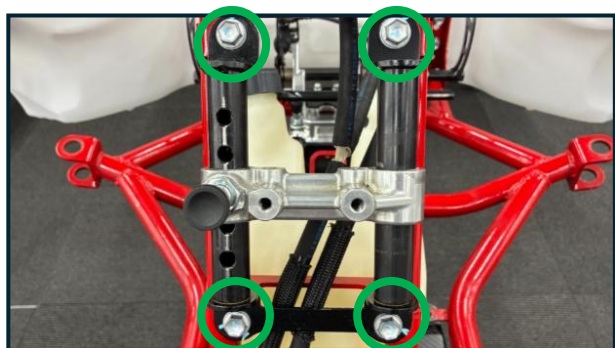
- ・ ボルト(M8)×2を取り外しスライドパイプベースと分離しステアリングシャフトを引き抜く

ステアリングシャフトの取り付け

- ・ 取り外しの逆の手順で取り付ける



締付トルク(M8)：21.0 N・m



ステアリングチルトの取り外し

- ・ ステアリングシャフトを取り外す
- ・ ボルト(M8)×4を取り外す

ステアリングチルトの取り付け

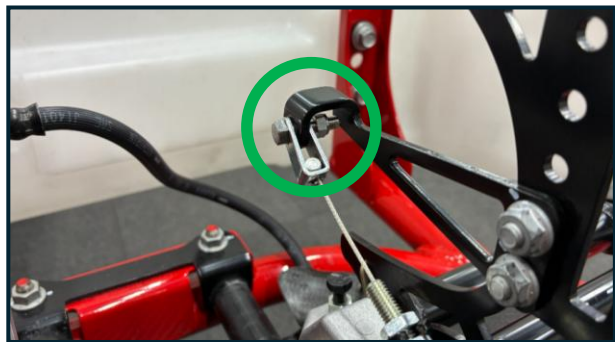
- ・ 取り外しの逆の手順で取り付ける



締付トルク(M8)：21.0 N・m

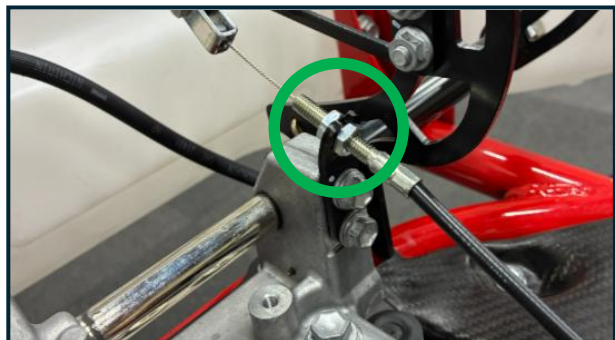
-
- トルク 14 N・m**
- トルク 21 N・m**
- トルク 21 N・m**
- トルク 14 N・m**
- Front

ペダル



アクセル側の取り外し

- ・ボルト、ナット(M4)を取り外しアクセルワイヤーをアクセルワイヤーブラケットNO.1と分離する



- ・ナット(M6)を緩め、アクセルワイヤーをアクセルワイヤーブラケットNO.2と分離する

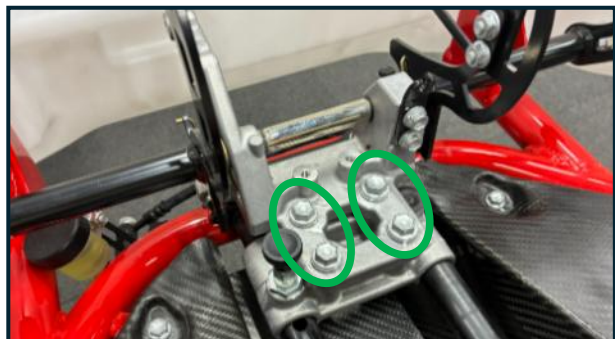


ブレーキ側の取り外し

- ・ピンを引きぬきマスターシリンダーとブレーキペダルを分離する



- ・ボルト(M6)×2を取り外しマスターシリンダーと分離する



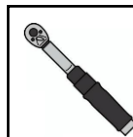
ペダルユニットの取り外し

- ・ボルト(M8)×4を取り外し、ペダルユニットを取り外す

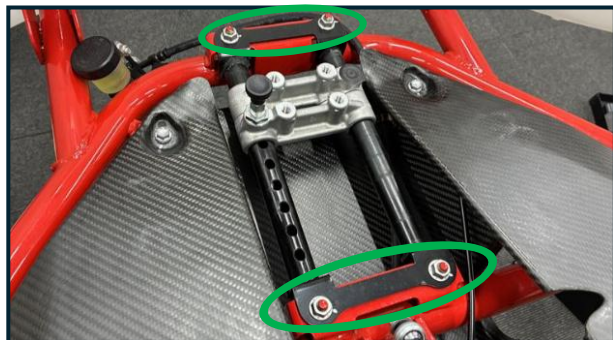
ペダル

ペダルユニットの取り付け

- ・ 取り外しの逆の手順で取り付ける



締付トルク(M6) : 14.0 N・m
締付トルク(M8) : 21.0 N・m



ペダルスライドの取り外し

- ・ ペダルユニットを取り外す
- ・ ナット(M8)×4を取り外す

ペダルスライドの取り付け

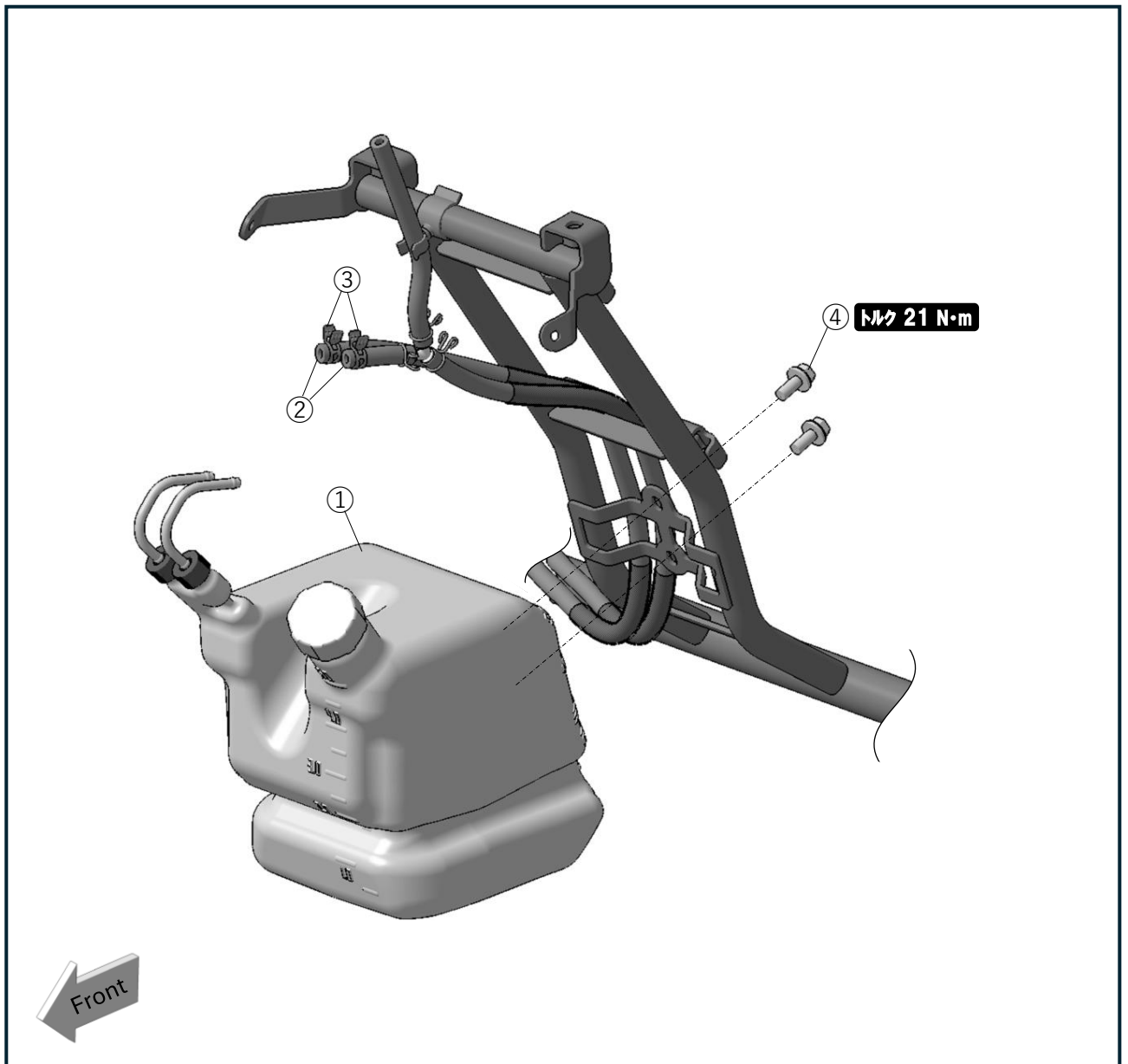
- ・ 取り外しの逆の手順で取り付ける



締付トルク(M8) : 21.0 N・m

燃料系

- ① 燃料タンク
- ② 燃料ホース
- ③ ホースクリップ
- ④ ボルトM8 (2個)

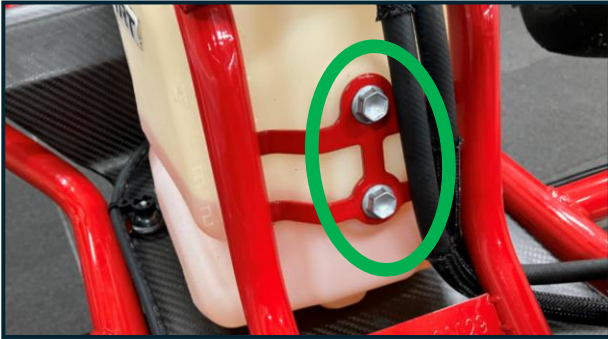


燃料系

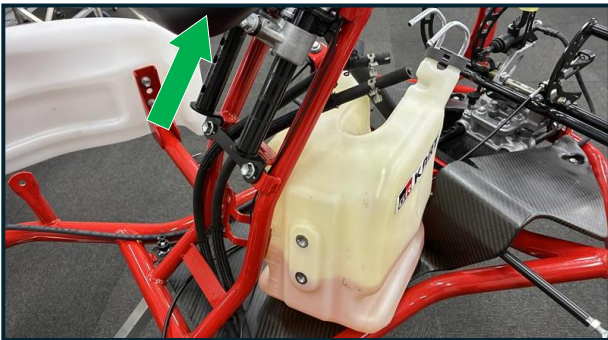


燃料タンクの取り外し

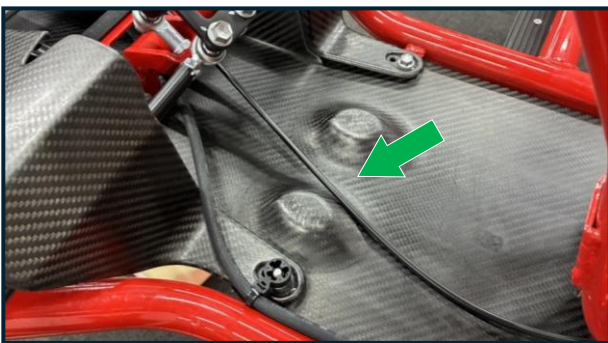
- ・ホースクリップをずらし、燃料ホースを引き抜く
- ※燃料ホース脱着の際、ガソリンが漏れるので火気等には十分に注意を払い作業を行う



- ・ボルト(M8)×2を取り外しフレームと分離する



- ・ステアリングチルトを一番上にし、燃料タンクを車体右側から引き抜く



燃料タンクの取り付け

- ・取り外しの逆の手順で取り付ける

※アクセルワイヤーがフロアの凸の間を通っていることを確認し取り付ける併せてアクセルワイヤーが燃料タンクの凸部の左を通るように取り付ける

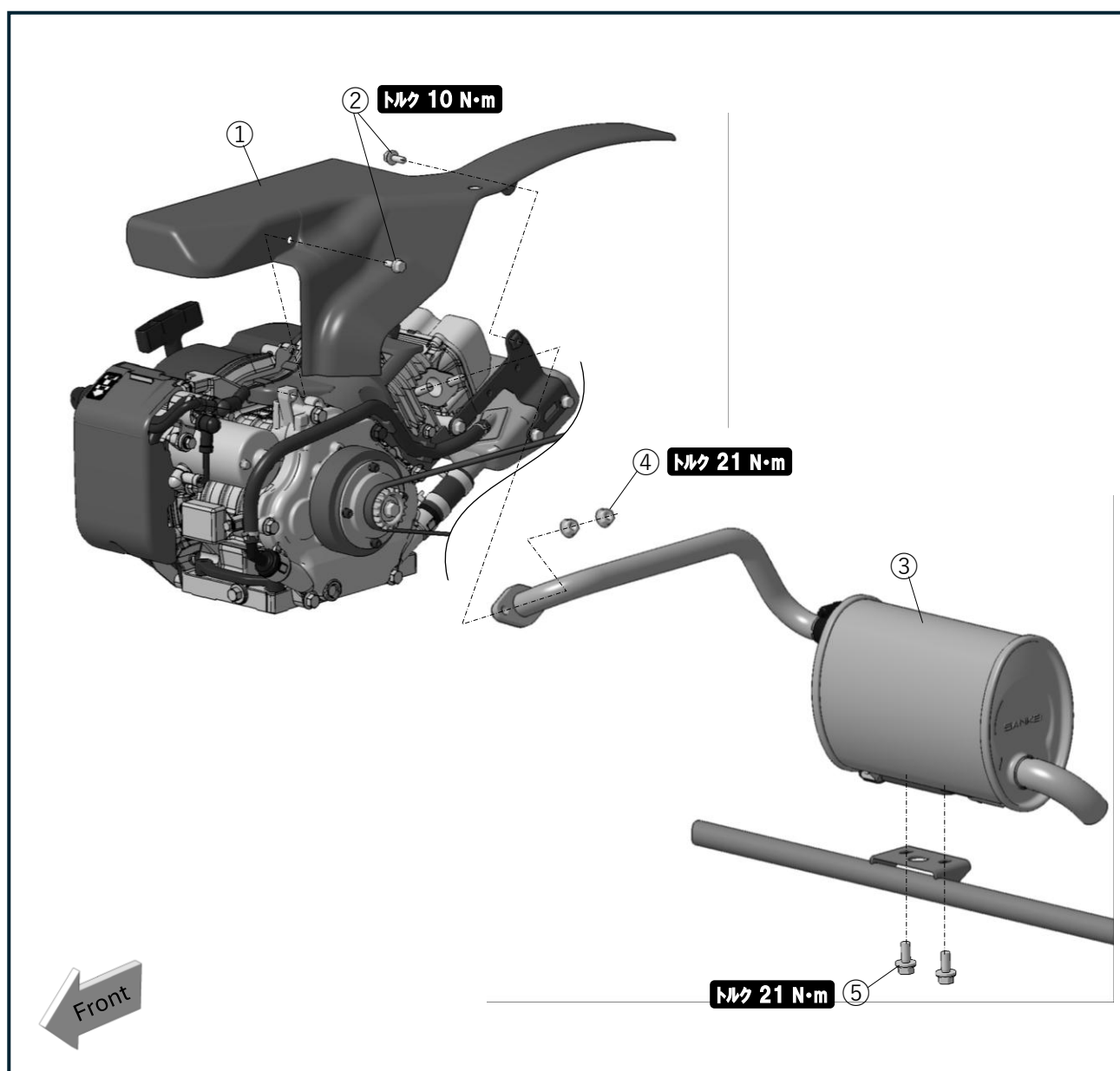
※燃料ホース脱着の際、ガソリンが漏れるので火気等には十分に注意を払い作業を行う



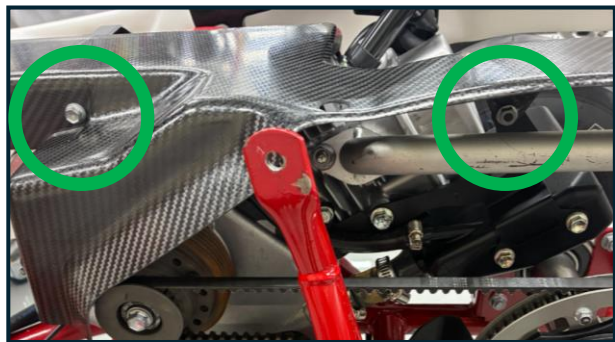
締付トルク(M8) : 21.0 N・m

排気系

- ① エンジンカバー
- ② ボルトM6 (2個)
- ③ マフラー
- ④ ナットM8 (2個)
- ⑤ ボルトM8 (2個)



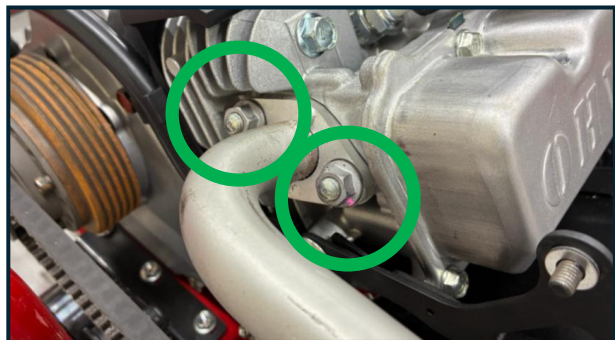
排気系



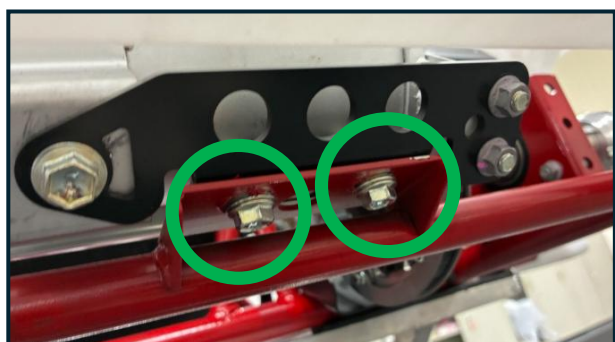
マフラーの取り外し

・ボルト(M6)×2を取り外し、エンジンカバーを取り外す

※走行直後はエンジン、マフラーが熱くなっているため注意して作業を行う



・ナット(M8)×2を取り外しエンジンと分離する



・ボルト(M8)×2を取り外しフレームと分離する

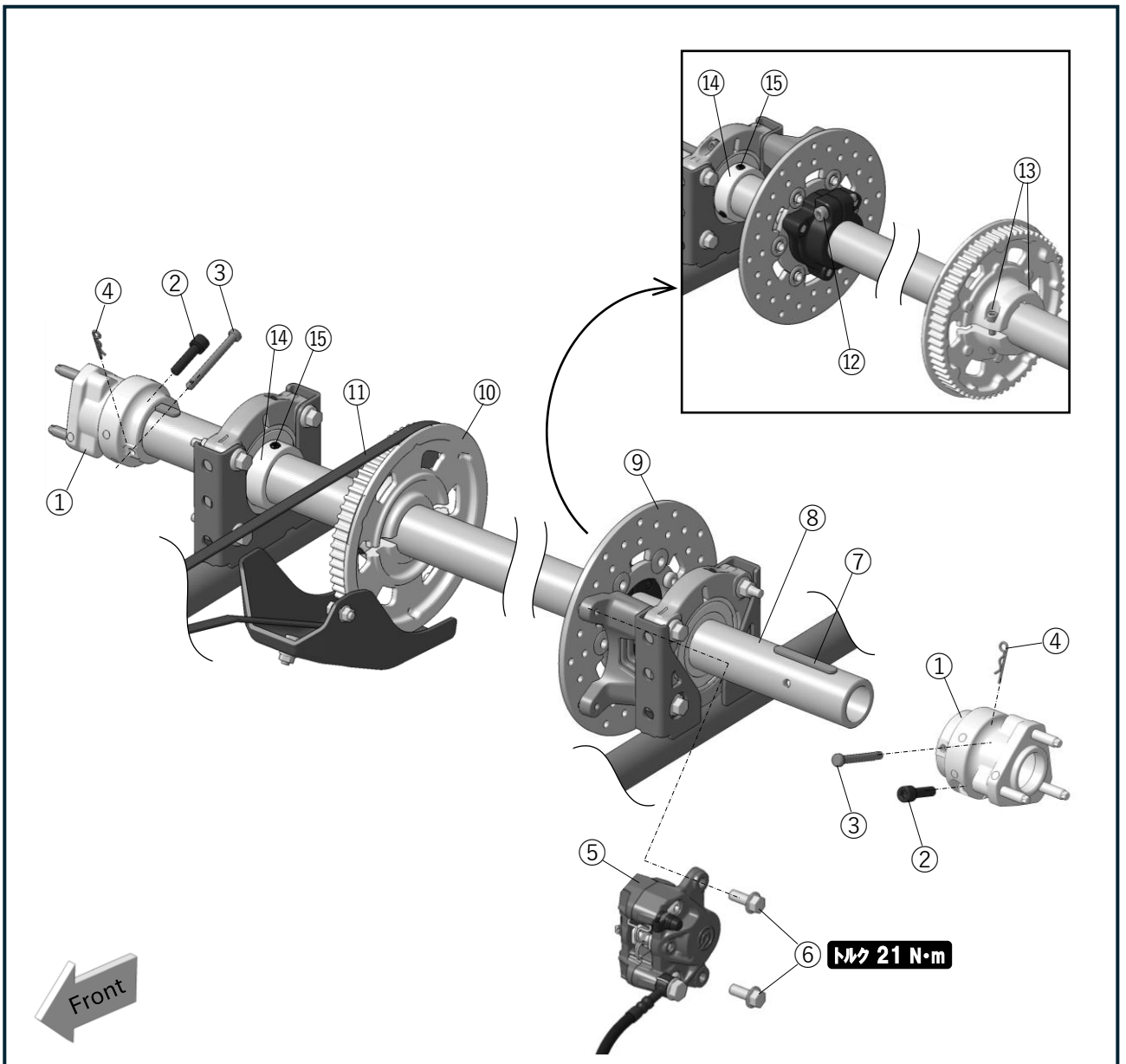
マフラーの取り付け

・取り外しの逆の手順で取り付ける
※マフラーガasketを忘れないよう注意する

	締付トルク(M6) : 10.0 N・m 締付トルク(M8) : 21.0 N・m
--	--

駆動系

- ① リヤホイールハブ
- ② キャップボルトM8
- ③ ピン
- ④ クリップ
- ⑤ ブレーキキャリパー
- ⑥ ボルトM8 (2個)
- ⑦ キー (4個)
- ⑧ シャフト
- ⑨ ブレーキディスク
- ⑩ ドリブンプーリー
- ⑪ ベルト
- ⑫ キャップボルトM8
- ⑬ キャップボルトM6 (2個)
- ⑭ ベアリング
- ⑮ イモネジM6 (2個×左右)



駆動系

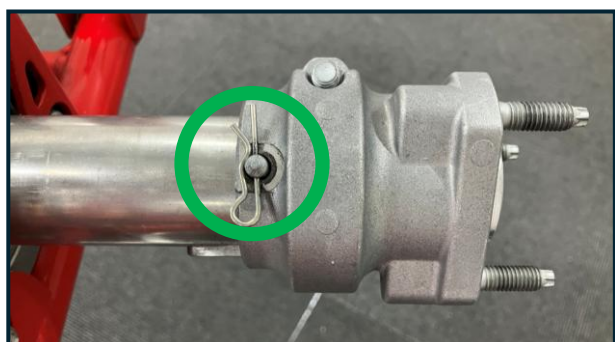


リアアクスルの取り外し

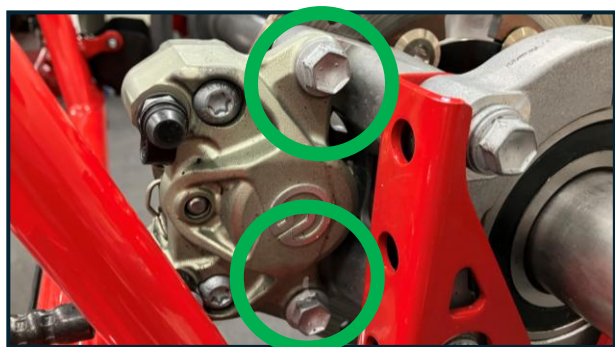
- ・ リヤホイールを取り外す (4-2参照)
- ・ 初めの方の方はシートを取り外し作業することを推奨する (4-9参照)
- ・ 初めの方の方はマフラーを取り外し作業することを推奨する (4-25参照)



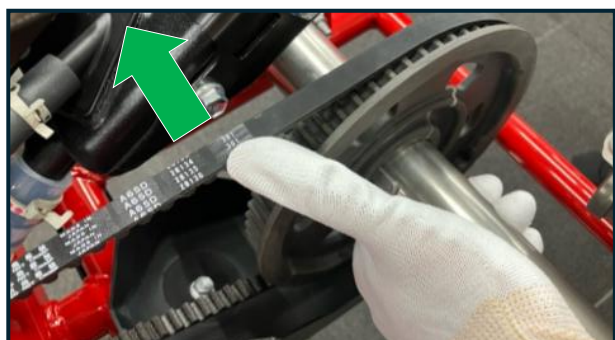
- ・ 左右リヤホイールハブのボルト (M8)×各1を取り外す



- ・ クリップを抜き、ピンを引き抜きリヤホイールハブをシャフトから取り外す
- ※キーが落ちる可能性があるので注意する

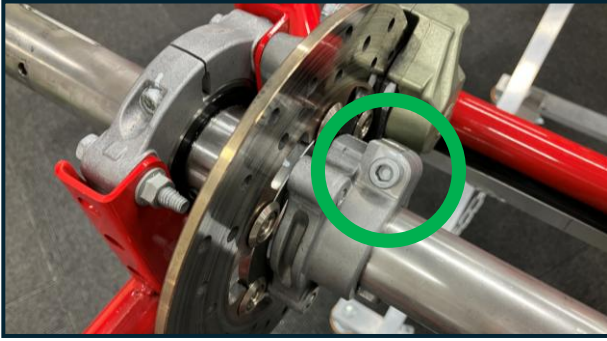


- ・ ボルト(M8)×2を取り外し、ブレーキキャリパーをブレーキディスクから引き抜く

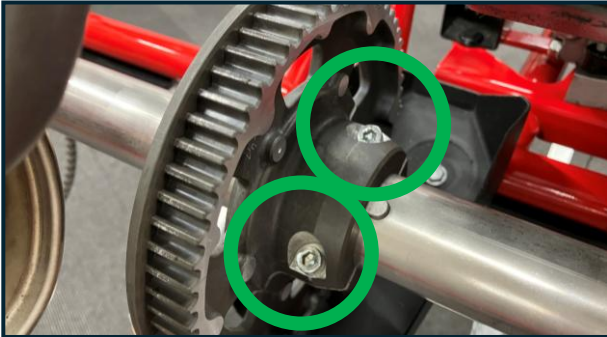


- ・ ベルト上側を車体右側へ抑えながら、シャフトを後退方向に回転させ、ベルトをドリブンプーリーから外す

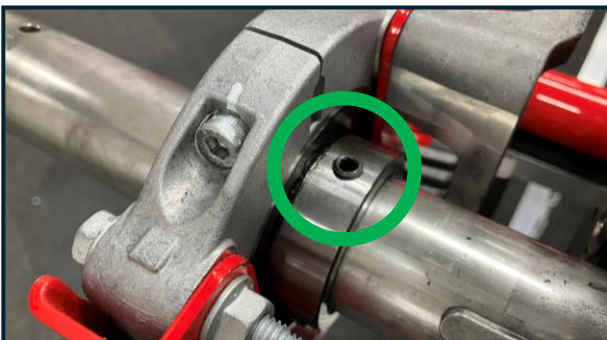
駆動系



- ・ ボルト(M8)を緩め、ブレーキディスクハブがスライドするようにする
- ※この時、ハブの隙間にマイナスドライバ等を差し込むことでスライドしやすくなる



- ・ ボルト(M6)×2を緩めドリブnpulleyがスライドするようにする



- ・ 左右ベアリングのイモネジ(M6)×4を緩め、シャフトが横方向に動くようにする



- ・ ブレーキディスク、ドリブnpulleyをスライドさせながらシャフトを引き抜く

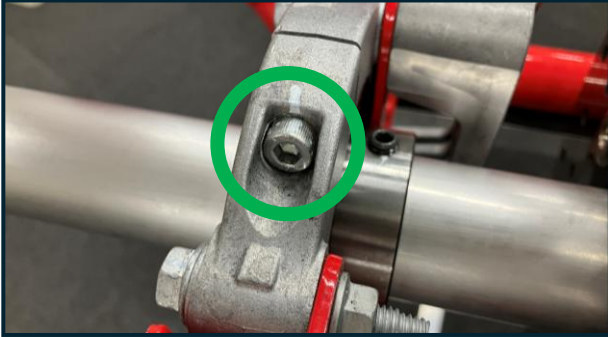
駆動系



リヤアクスルの取り付け

・ブレーキディスク、ドリブンプーリー、ドライブベルトを通しながらリヤアクスルを差し込む

※ブレーキディスクハブ、ドリブンプーリーにキーを取り付けるのを忘れないように注意する



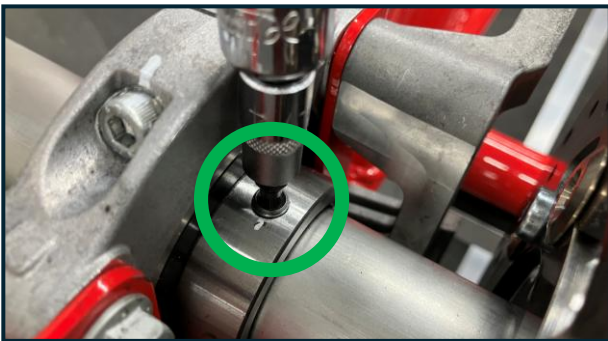
リヤシャフトの芯出し

・ベアリングホルダーボルト(M6)を緩める

・シャフトを回転させながら少しづつベアリングホルダーボルト(M6)を締め、芯出しを行う



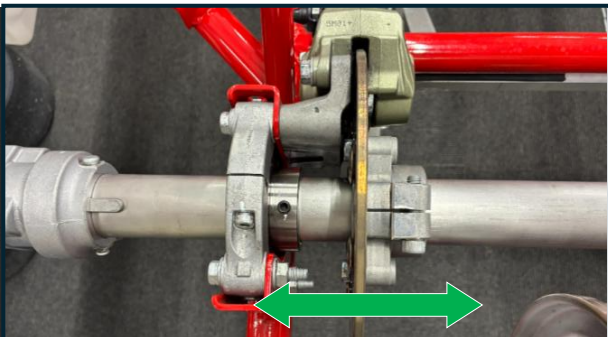
・左右のリヤシャフト先端からベアリングホルダーまでの距離を均等にしリヤシャフトの横方向の位置出しを行う



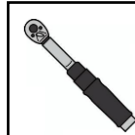
・横方向の位置が決まったらイモネジ(M6)×4を締めベアリングカラーでシャフトを固定する



締付トルク(M6) : 14.0 N・m



・ブレーキキャリパーを取り付け、ブレーキディスクハブの位置をブレーキキャリパーに合わせて調整し、位置出しをしてからボルト(M8)を締め固定する



締付トルク(M8) : 21.0 N・m

駆動系



- ・ベルト下側をドリブnpーリーに引っ掛けて車体左側に抑えながら、リヤアクスルを前進方向に回転させ、ベルトをドリブnpーリーに装着する

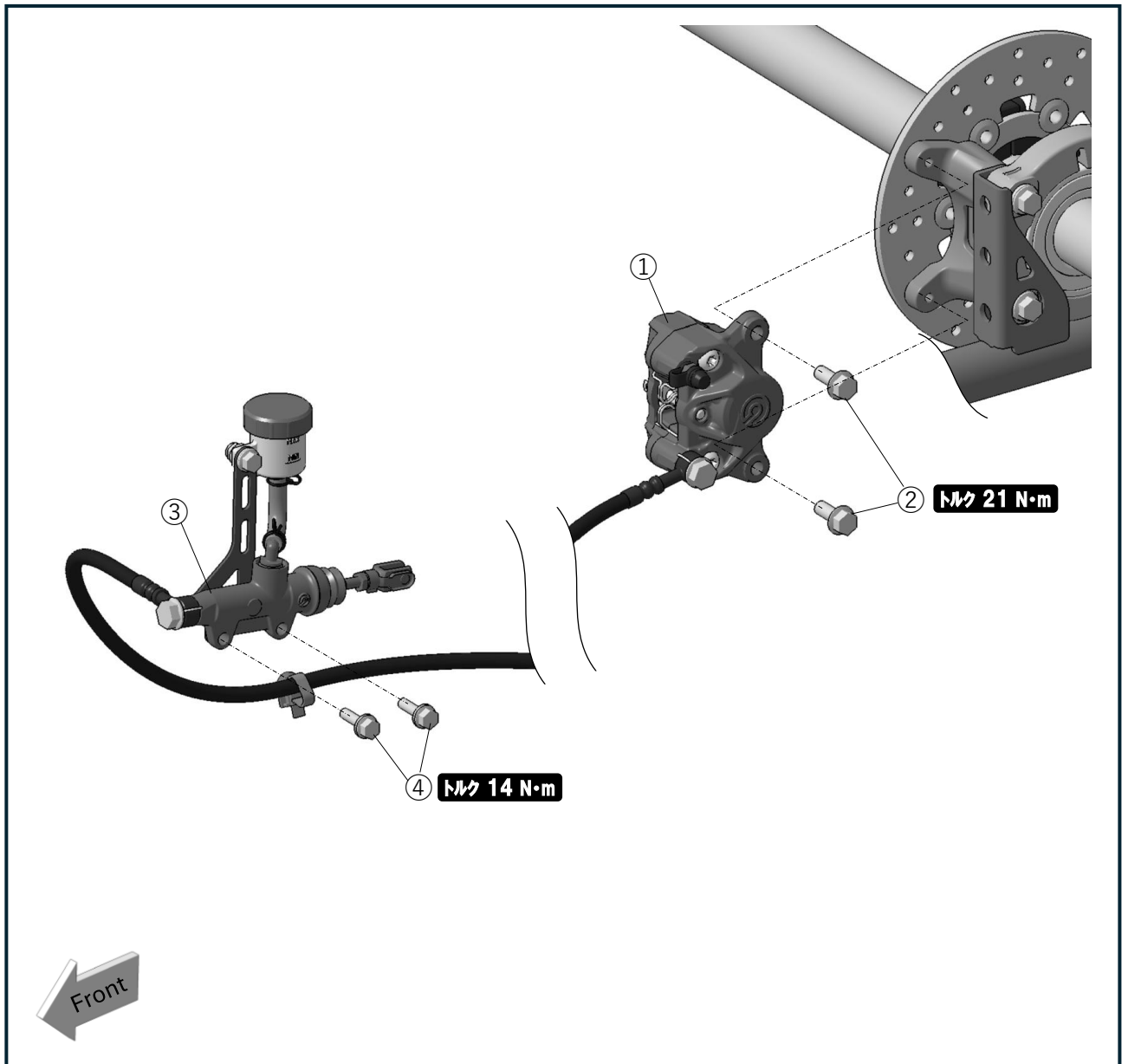


- ・シャフトを回転させてドライブpーリー、ドリブnpーリー、テンショナーのセンターにベルトが正しく乗っていることを確認する

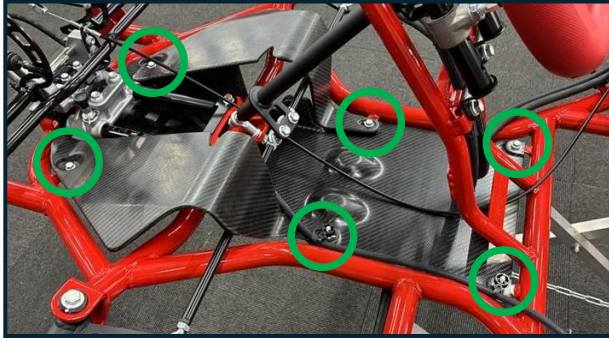
- ・センターがズレている場合はドリブnpーリーの位置を左右に調整しボルト(M6)×2を締め固定する

ブレーキ

- ① ブレーキキャリパー
- ② ボルトM8 (2個)
- ③ ブレーキマスターシリンダー
- ④ ボルトM6 (2個)

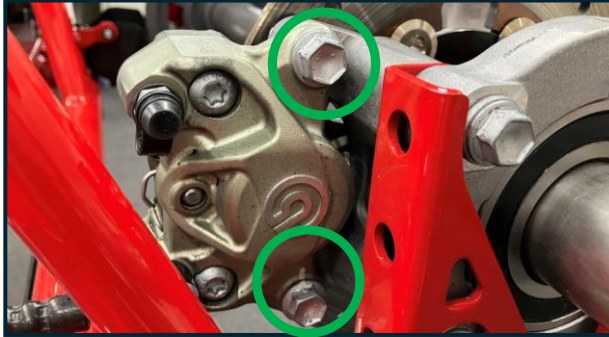


ブレーキ



ブレーキアッシーの取り外し

- ・フロアパネル上側を取り外す
- ・フロアパネル下側を取り外す



- ・ボルト(M8)×2を取り外し、ブレーキキャリパーをブレーキディスクから引き抜く



- ・ピンを引き抜きブレーキペダルと分離する



- ・ボルト(M6)×2を取り外しペダルユニットベースと分離し、ブレーキアッシーを取り外す

ブレーキアッシーの取り付け

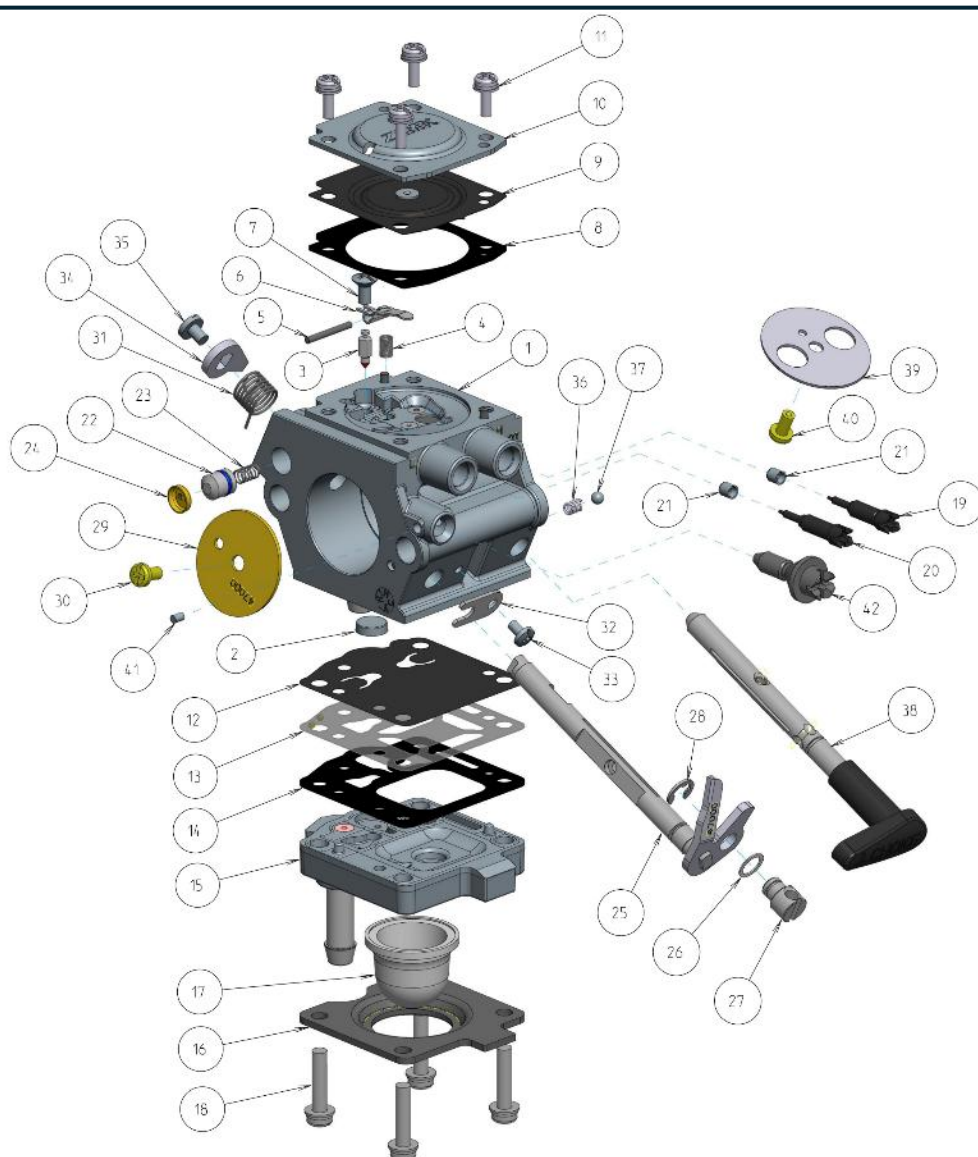
- ・取り外しの逆の手順で取り付ける



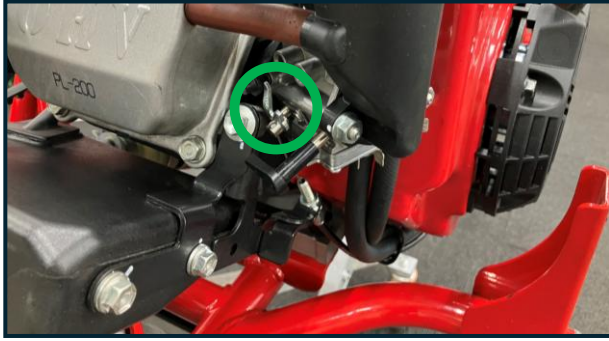
締付トルク(M6) : 14.0 N・m
締付トルク(M8) : 21.0 N・m

第5章 キャブレター

- | | | |
|-----------------------|----------------------|----------------------|
| ① ボディアッシー | ⑬ リテーナー | ③① スロットルスプリング |
| ② ストレーナー | ⑭ シリンジ | ③② リテーナー |
| ③ インレットニードル | ⑮ スクリュー | ③③ スクリュー |
| ④ メタリングスプリング | ⑯ ハイスピードスクリュー | ③④ スロットルレバー |
| ⑤ メタリングピン | ⑰ ロースピードスクリュー | ③⑤ スクリュー |
| ⑥ メタリングレバー | ⑱ リテーナーリング | ③⑥ ディテントスプリング |
| ⑦ スクリュー | ⑲ 加速ポンププランジャー
キット | ③⑦ ボール |
| ⑧ メタリングガasket | ⑳ 加速ポンプスプリング | ③⑧ チョークシャフト
アッシー |
| ⑨ メタリングダイヤフラム
アッシー | ㉑ プラグ | ③⑨ チョークバルブ |
| ⑩ メタリングカバー | ㉒ スロットルシャフト
アッシー | ④① スクリュー |
| ⑪ スクリュー | ㉓ ワッシャー | ④② フリクションピース |
| ⑫ ポンプダイヤフラム (黒) | ㉔ スイベル | ④③ アイドルスピード
スクリュー |
| ⑬ ポンプダイヤフラム (透明) | ㉕ Eリング | |
| ⑭ ポンプガasket | ㉖ スロットルバルブ | |
| ⑮ ベースプライマー
アッシー | ㉗ スクリュー | |



キャブレターの取り外し



キャブレターの取り外し

・スロットルレバーからアクセルワイヤーを取り外す

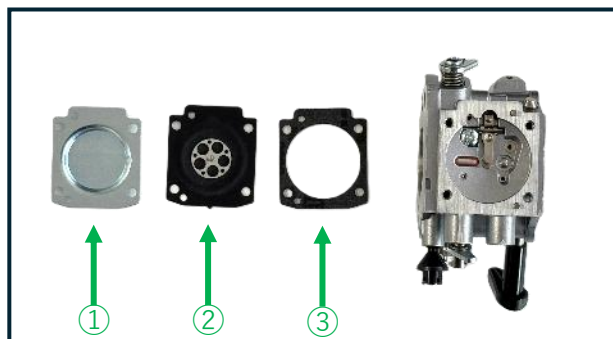


・クリップ×2をずらし、燃料ホース×2を取り外す



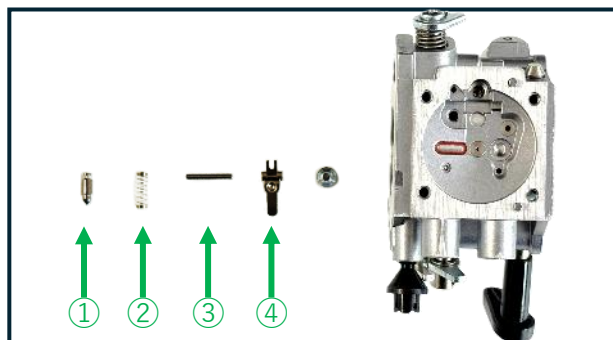
・ナット(M6)×2を取り外しキャブレター、エアクリナーを取り外す
※キャブレターとインシュレーター、エアクリナーそれぞれの間にガスケットがあるので無くさないよう注意する

キャブレターの分解



キャブレターの分解

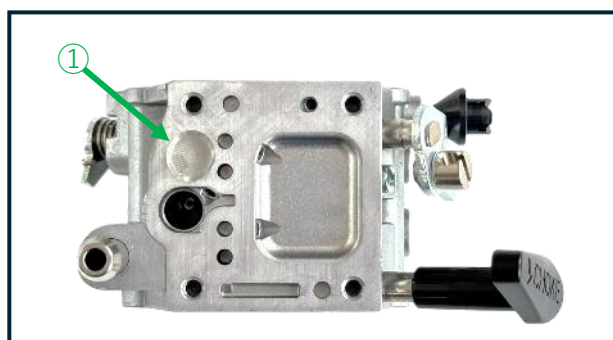
- ・以下の 部品を取り外す
- メタリングカバー①
- メタリングダイヤフラム②
- メタリングガスケット③



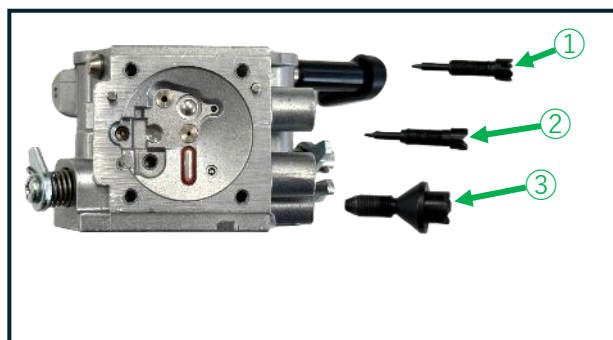
- ・以下の部品を取り外す
- インレットニードル①
- メタリングスプリング②
- メタリングレバーピン③
- メタリングレバー④



- ・以下の部品を取り外す
- ポンプダイヤフラム①
- バックアップダイヤフラム②
- ポンプガスケット③
- ベースプライマーアッシー④
- リテーナー⑤
- シリンジ⑥

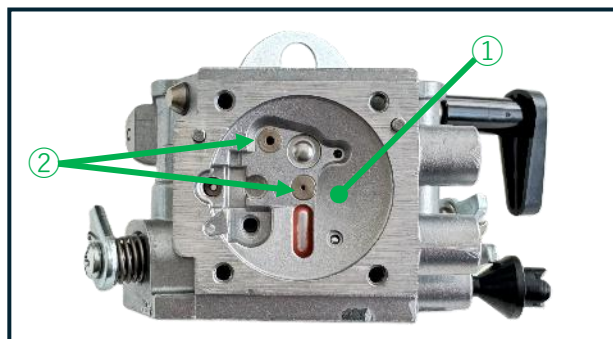


- ・以下の部品を取り外す
- ストレーナー①



- ・以下の部品を取り外す
- ハイスピードスクリュー①
- ロースピードスクリュー②
- アイドルスピードスクリュー③
- ※各スクリュー取り外し時に構成図部品番号②④が抜けることがあるので注意する

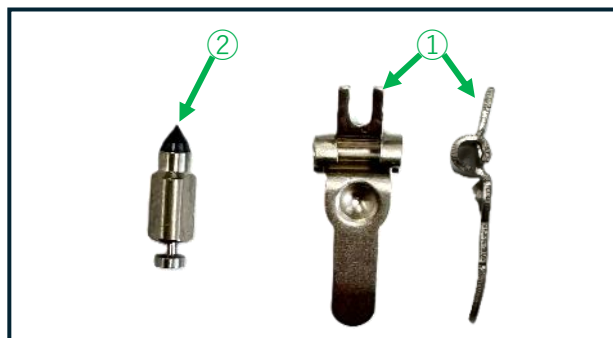
キャブレターの点検・清掃



キャブレターの点検

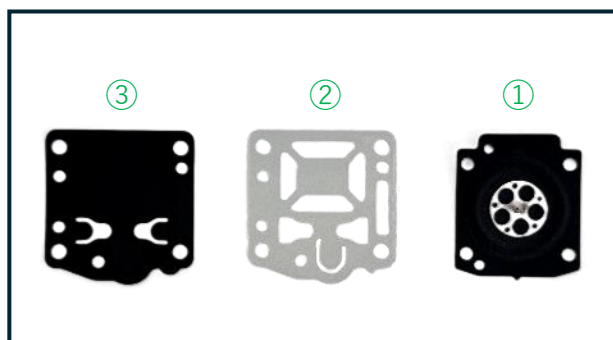
・以下の点検をする
メタリング室①
通路につまりがある場合にはアルコールを含
まないクリーナーで洗浄をする

※針金等を使用して清掃しないこと
※エアを当てると性能低下が起きる可能性が
あるので注意する



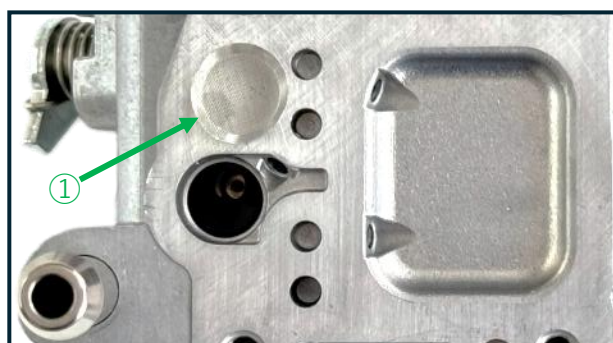
・以下の点検をする
メタリングレバー①
インレットニードル②

変形・損傷・摩耗→交換



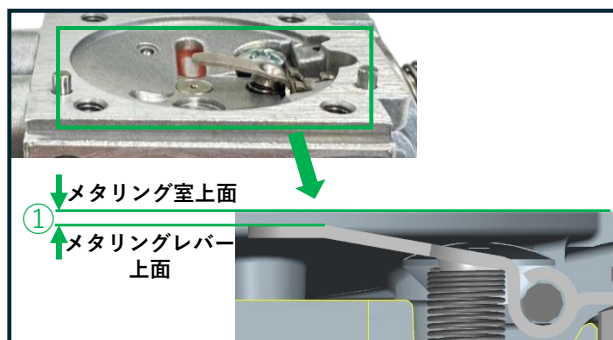
・以下の点検をします
メタリングダイヤフラム①
ポンプダイヤフラム（透明）②
ポンプダイヤフラム（黒）③

ふやけ、のび、損傷→交換



・以下の点検をします
ストレーナー①

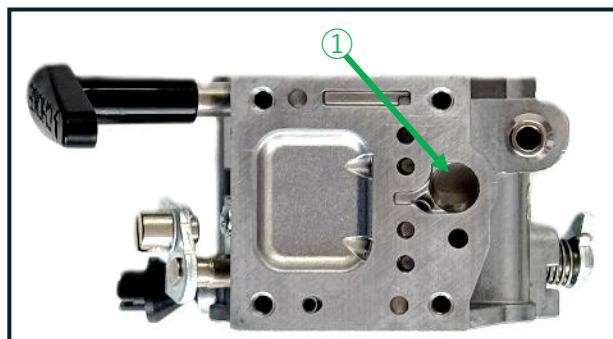
ごみの詰まり→清掃
ほころび、損傷→交換



・以下の点検をします
メタリングレバー高さ①

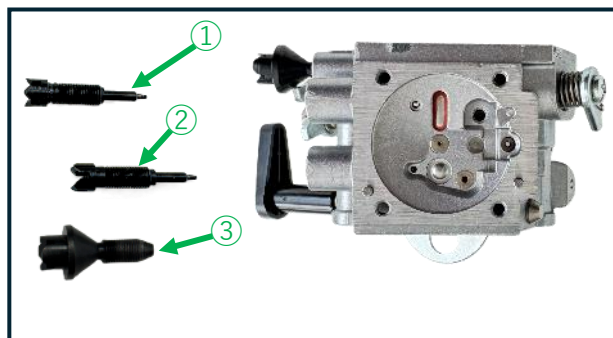
	メタリングレバー高さ寸法 規定値：0.05～0.25 mm
--	--

キャブレターの組み立て



キャブレターの組み立て

- ・以下の部品を組み付けます
ストレーナー①

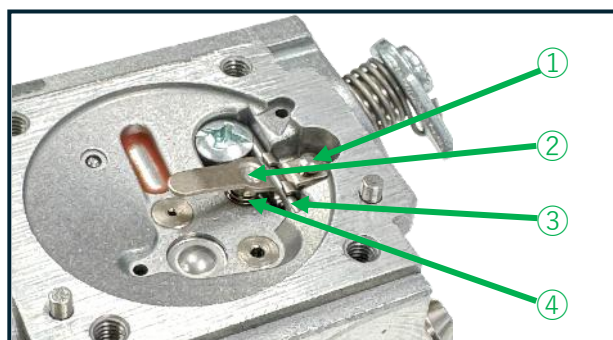


- ・以下の部品を組み付けます
ハイスピードスクリュー①
ロースピードスクリュー②
アイドルスピードスクリュー③
※分解図部品番号⑳、㉑があることを確認する



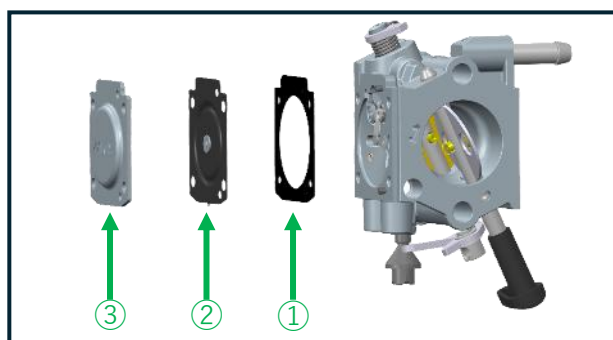
スピードスクリュー戻し開度

- ・ハイ：3+1/4
- ・ロー：2+1/4



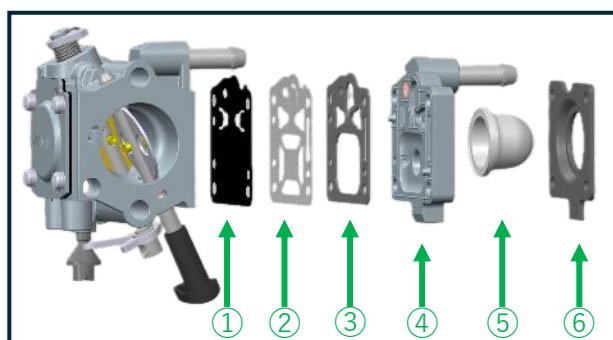
- ・以下の部品を組み付けます
インレットニードル①
メタリングレバー②
メタリングレバーピン③
メタリングスプリング④

※レバー及びニードルが組付け後にスムーズに動作・開閉すること



- ・以下の 部品を組み付けます
メタリングガスケット①
メタリングダイヤフラムアッシー②
メタリングカバー③

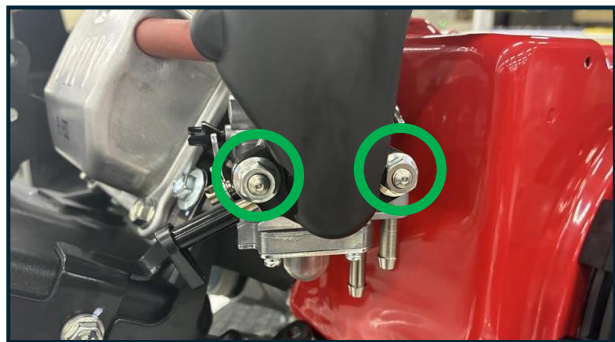
※①~②の順番を間違わないこと



- ・以下の 部品を組み付けます
ポンプダイヤフラム（黒）①
ポンプダイヤフラム（透明）②
ポンプガスケット③
ベースプライマーアッシー④
シリンジ⑤
リテーナー⑥

※①~③の順番を間違わないこと

キャブレターの取り付け



キャブレターの取り付け

- ・ボルト(M6)×2でキャブレター、吸気ボックスを取り付ける

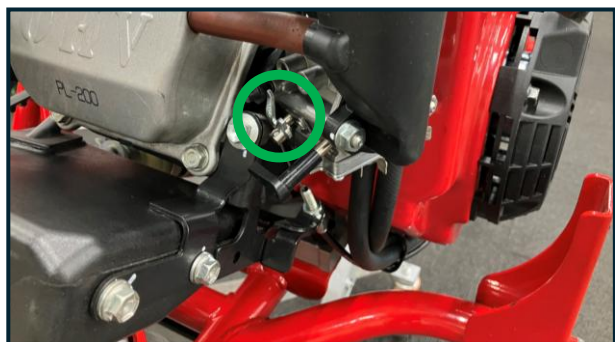
※エアクリーナーガasket、キャブレターガasketを忘れず取り付ける



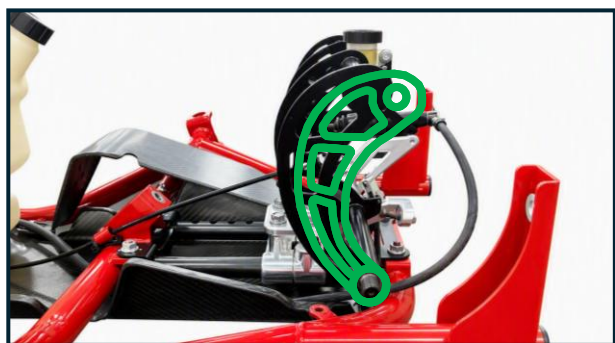
締付トルク(M6) : 6.0 N・m



- ・燃料ホース×2をクリップで取り付ける



- ・アクセルワイヤーをキャブレターに取り付ける



アクセルペダルの調整

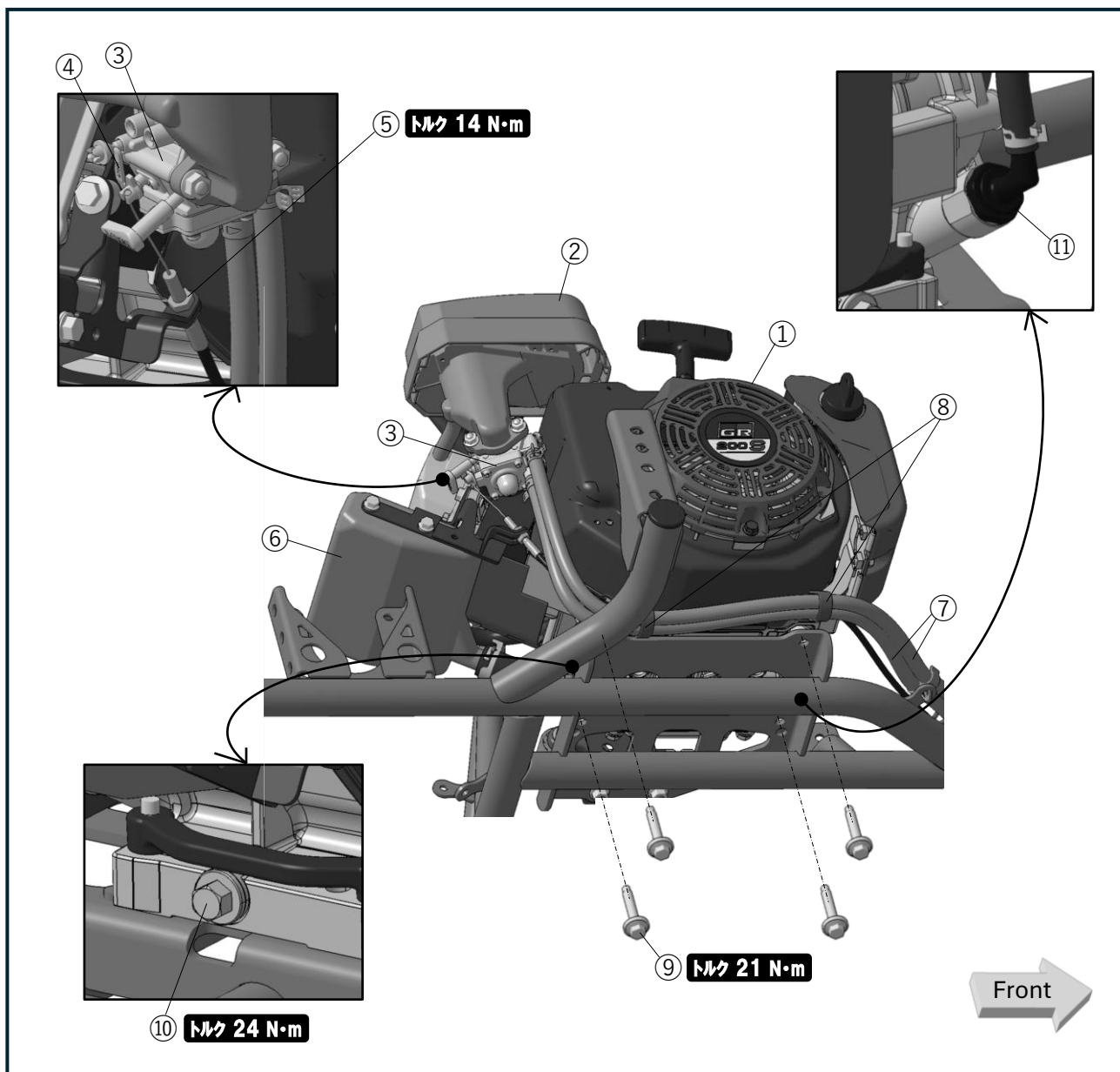
- ・スロットルの全開、アクセルペダルの遊び量を調整する

※詳細な調整手順は3-8参照

第6章 エンジン

エンジン構成図

- ① エンジン
- ② エアクリナー
- ③ キャブレター
- ④ スロットルレバー
- ⑤ ナットM6
- ⑥ オイルキャッチタンク
- ⑦ 燃料ホース
- ⑧ J型クランプ
- ⑨ ボルトM8（4個）
- ⑩ ドレンボルト（リヤ側）
- ⑪ オイルキャッチタンクアダプター（フロント側）



エンジンオイル交換



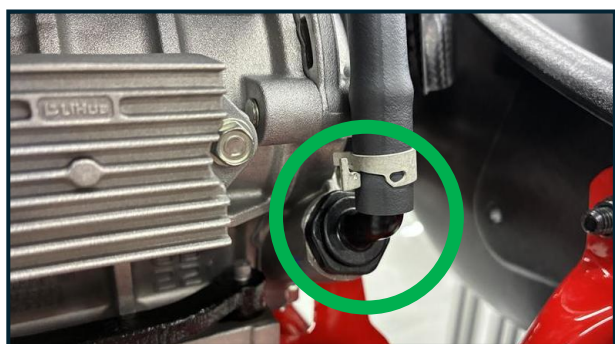
エンジンオイルの排出

- ・ リヤ側ドレン ボルト(M14)を取り外し、エンジンオイルを排出する
- ※走行直後はエンジン・エンジンオイルが熱くなっているので注意する

- ・ エンジンオイルを排出し終わったら、ドレンプラグ(M14)を取り付ける

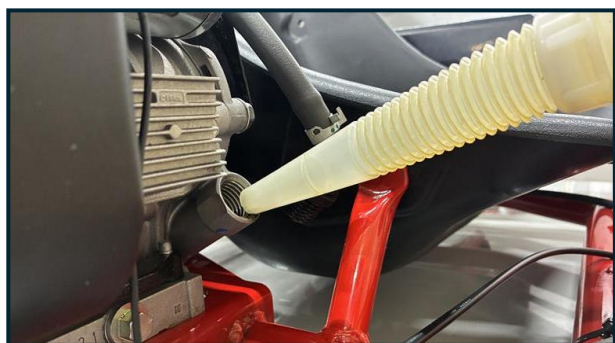


締付トルク(M14)：24.0 N・m



フロントオイルキャッチタンクアダプターの取り外し

- ・ フロント側オイルキャッチタンクアダプター(M22)を取り外す



エンジンオイルの充填

- ・ エンジンオイルを充填する

規定量 ： 0.55 L

指定粘度 ： 5W - 30

フロントオイルキャッチタンクアダプターの取り付け

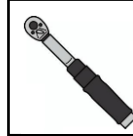
- ・ 取り外しの逆の手順で取り付ける

エンジンの脱着



右リヤタイヤの取り外し

- ・右リヤタイヤを取り外す（4-2参照）

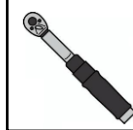


締付トルク(M8)：21.0 N・m

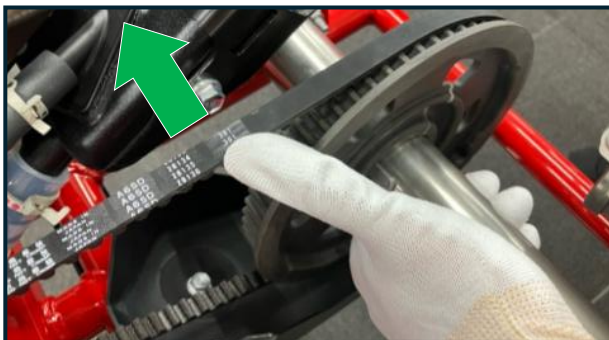


右サイドバンパーの取り外し

- ・右サイドバンパーを取り外す（4-6参照）

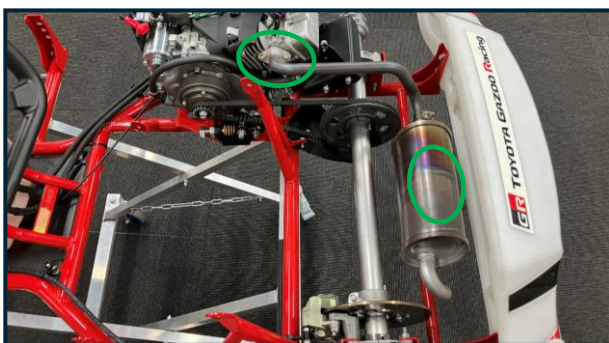


締付トルク(M8)：21.0 N・m



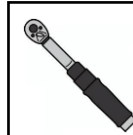
ドライブベルトの取り外し

- ・ベルト上側を車体右側へ抑えながら、シャフトを後退方向に回転させ、ベルトをドリブンプーリーから外す

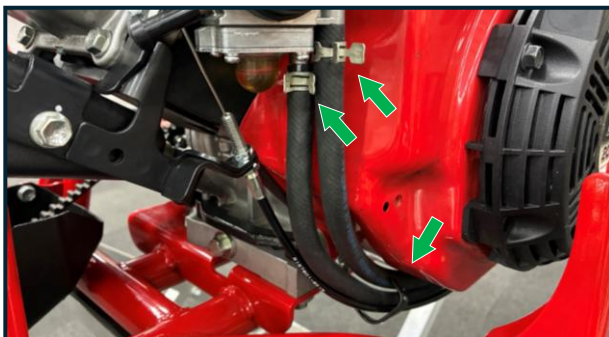


マフラーの取り外し

- ・マフラーを取り外す（4-25参照）



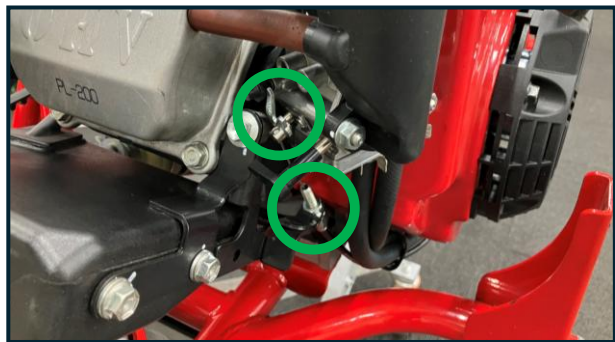
締付トルク(M8)：21.0 N・m



燃料ホースの取り外し

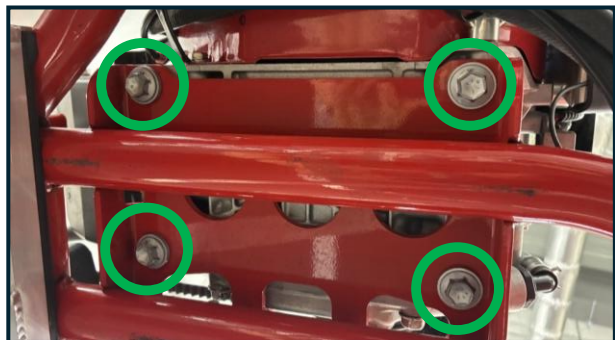
- ・キャブレター側のクリップ×2をずらし、J型クランプ×2を変形させ燃料ホース×2を取り外す

エンジンの脱着



アクセルワイヤーの取り外し

- ・スロットルレバーからアクセルワイヤーを取り外す
- ・上側のナット(M6)を取り外しアクセルワイヤーを引き抜く



エンジンの取り外し

- ・エンジン固定ボルト(M8)×4を取り外し、エンジンを車体から取り外す

エンジンの組み付け

- ・取り外しの逆の手順で組み付ける

	締付トルク(M8) : 21.0 N・m
---	----------------------

【改訂履歴】

2026/08/18 初版

2026/09/09 改訂

【発行】

トヨタ自動車株式会社 GAZOO Racing Company

【問い合わせ】

蒲郡GR KART工房 mail : info@grkart.toyota

TEL : 0533-59-6770